



---

# 正社員のワークライフ・インテグレーション調査2024年版(2023年実績)

---

2024年2月 株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部

---

転載・引用につきまして  
レポートの著作権は、株式会社マイナビが保有します。レポートの内容を転載・引用する場合には、出所として  
・弊社名（株式会社マイナビ） 株式会社は省略可  
・調査名称  
・調査時期  
を明記してご利用ください。

ex)  
株式会社マイナビ「ベースアップに関する実態調査（2019年5月調査）」によると・・

## 【転載・引用に関する注意事項】

以下の行為は禁止いたします。

- ・レポートの一部または全部を改変すること
- ・本レポートの一部または全部を販売・出版すること
- ・出所を明記せずに転載・引用を行うこと
- ・公序良俗に反する利用や違法行為につながる可能性がある利用を行うこと

転載・引用されたことにより、利用者または第三者に損害その他トラブルが発生した場合、当社は一切その責任を負いません。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部  
E-mail: myrm@mynavi.jp

調査概要 & 対象者プロフィール	..... 4
TOPICS	..... 5
1 . 正社員としての実態と意識	..... 7
1-1 . 現在の勤務地	..... 8
1-2 . 今後働いてみたい都道府県	..... 9
1-3 . 現在の業種	..... 10
1-4 . 現在の職種	..... 11
1-5 . 現在の働き方と理想の働き方	..... 12
1-6 . 働く時間・勤務形態	..... 13
1-7 . 個人年収	..... 14
1-8 . 現在の役職・今後の出世意向	..... 15
1-9 . 導入済みの従業員向け施策/利用して満足度が高い従業員向け施策	..... 16
1-10 . 今は導入されていないが、導入されてほしい従業員向け施策	..... 17
1-11 . 職場環境	..... 18
1-12 . ネガティブな職場環境への対処	..... 19
1-13 . 仕事への取り組み方	..... 20
1-14 . 仕事の価値観	..... 21
1-15 . 働く上での本音	..... 22
1-16 . 職場環境の柔軟性	..... 23
1-17 . 仕事のやり方	..... 24
1-18 . 仕事上の経験	..... 25
1-19 . 早期退職理由	..... 26
1-20 . 産休・育休取得年/期間	..... 27
1-21 . 産休・育休中の満足度	..... 28
1-22 . リスキリングのきっかけ	..... 29

1-23．リスキリングで得たスキルの活用状況	..... 30
1-24．副業経験	..... 31
1-25．副業の業種	..... 32
1-26．副業の職種	..... 33
<b>2．私生活の実態と意識</b>	<b>..... 34</b>
2-1．将来の結婚意向	..... 35
2-2．将来子どもがほしいか	..... 36
2-3．家事時間・睡眠時間	..... 37
2-4．自身のストレス度合い	..... 38
2-5．私生活の状況	..... 39
2-6．私生活での本音	..... 40
<b>3．仕事と私生活のバランス</b>	<b>..... 41</b>
3-1．仕事と家庭のバランスのためにしていること	..... 42
3-2．私生活の充実と仕事の充実の関係	..... 43
3-3．生活上の満足度	..... 44
3-4．自分への理解度/理解度を高めるためにしていることがあるか	..... 45
3-5．新しい挑戦へのハードル感	..... 46
3-6．新しいことへの挑戦頻度	..... 47
3-7．WLB/WLI認知	..... 48
3-8．WLIの実現度	..... 49
<b>Appendix</b>	<b>..... 50</b>

# 調査概要 & 対象者プロフィール

## 調査概要

調査目的	属性ごとのワークエンゲージメント向上への糸口、働き甲斐やキャリア感など、正社員の価値観や意識を明らかにする。		
調査名	正社員のワークライフ・インテグレーション調査2024年版(2023年実績)		
調査地域	全国		
調査方法	インターネット調査		
対象者	20～59歳の正社員の男女		
回収数	3,000件		
割付	性年代・未婚・共働き状況別で12属性・250件ずつの割付を行う。 (全体集計時には、2020年国勢調査結果より雇用形態が正社員・未婚・共働き状況でのウエイトバック集計を行う。)		
実施期間	スクリーニング調査・本調査：2023年11月17日(金)～11月20日(月) 一体で実施		

調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。  
n=30以下は参考値としております。

- 現在の業種は「医療・福祉・介護」、現在の職種は「管理・事務」が最も高い。  
正社員の意識としては、「できることなら働きたくない」が、「仕事には自主的に取り組んでいる。また、「出世の意欲はほとんどない」が、「できることならひとつの会社で長く働きたい」。  
仕事そのもの・労働条件・給与への不満が離職に繋がりやすい。
  - 働く上での本音では、『できることなら働きたくない』で「そう思う（計）」が56.9%と高い。
  - 仕事への取り組み方としては、『私は仕事に自主的に取り組んでいる』で「そう思う（計）」が63.0%と高い。
  - 今後出世したい役職では、「これ以上出世は望まない」が61.7%。
  - 仕事の価値観としては、『私は、できることならひとつの会社で長く働きたい』『お金のために働いている』『家族のために働いている』で「そう思う（計）」がそれぞれ半数を超える。
  - ネガティブな職場環境への対処としては『仕事そのものに満足していない』『休日や勤務時間などの労働条件に満足していない』『給与に満足していない』では「転職活動をして職場を変える」が高く、これらへの不満が離職に繋がりやすくなっている。
  - 【理想の働き方】では、「出社とリモートワーク（在宅）を組み合わせた働き方」が45.0%で最も高く、【現在の働き方】と比べても26.1pt高い。
  - 実際の年収の平均は502.9万円。性別で年収を比べるとおよそ180万円、未婚で年収を比べると、およそ120万円の差がある。
- 将来の結婚意向は、積極的ではないが結婚への意欲がある方も含めると89.1%。  
将来子どもがほしいかについては、「子どもは欲しくない」が「子どもが欲しい」を上回る。
  - 将来の結婚意向としては、「いい人がいれば結婚したいが、いなければ結婚しなくてもよい」が40.5%で一番のボリュームゾーンになる。
  - 将来子どもがほしいかについては、「子どもは欲しくない（計）」が59.0%と、「子どもが欲しい（計）」41.0%を上回る。性別では、男性よりも女性で「子どもが欲しくない（計）」が高くなっている。
  - 1日あたりの家事時間平均は、1.8時間。性別では女性で2.4時間と、男性の1.5時間を大きく上回る。

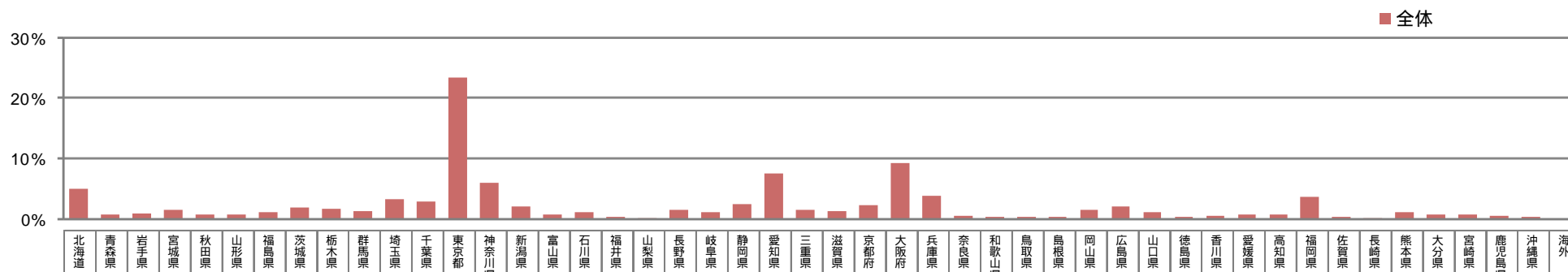
- 私生活の充実と仕事の充実の関係としては、「私生活の充実と仕事の充実がつながっている（計）」は70.0%。  
WLBの認知率が82.8%になるのに対し、WLIの認知率は26.0%に留まる。
- 私生活の充実と仕事の充実の関係としては、年代別では20代で「私生活の充実」が「仕事の充実」につながっていると感じる」が他の年代より高くなっている。
- 【WLB】については「言葉も意味も知っている」が57.3%、言葉だけ知っている方も含めると認知率は82.8%となる。【WLI】については「言葉も意味も知っている」が6.5%、言葉だけ知っている方も含めても認知率は26.0%に留まる。
- ワークライフ・インテグレーションの実現は、実現を「感じる（計）」が26.6%に対し、「感じない（計）」が39.0%になる。未既婚でみると、既婚の方が未婚よりも実現を感じるが高くなっている。

# 1 . 正社員としての実態と意識

# 1-1 . 現在の勤務地（Q1）

- 現在の勤務地は「東京都」が23.3%で最も高い。次いで「大阪府」、「愛知県」などいわゆる都市圏が上位となっている。

Q.あなたの「現在の勤務地」「現在の居住地」「今後働いてみたい都道府県」をお選びください。



		全体	(3000)	4.9	0.7	0.8	1.4	0.6	0.7	1.0	1.9	1.6	1.2	3.3	2.8	23.3	6.0	2.1	0.6	1.0	0.3	0.2	1.4	1.1	2.4	7.5	1.4	1.2	2.2	9.2	3.8	0.5	0.4	0.3	0.4	1.5	2.0	1.0	0.4	0.5	0.7	0.7	3.6	0.4	0.2	1.0	0.7	0.6	0.5	0.4	
性別	男性	(1929)	4.3	0.6	0.9	1.2	0.4	0.5	0.9	2.3	2.0	1.2	2.9	3.1	24.3	6.5	2.3	0.6	0.5	0.3	0.2	1.5	1.0	2.7	7.7	1.5	1.1	1.8	9.7	3.9	0.7	0.4	0.3	0.1	1.7	1.6	0.7	0.3	0.5	0.5	0.7	3.1	0.5	0.2	0.8	0.8	0.6	0.3	0.3		
	女性	(1071)	5.9	1.0	0.6	1.6	1.0	1.0	1.1	1.1	1.0	1.2	4.0	2.3	21.4	5.2	1.7	0.6	1.9	0.4	0.3	1.2	1.3	1.7	7.0	1.2	1.3	3.0	8.2	3.7	0.1	0.3	0.3	1.0	1.1	2.8	1.5	0.5	0.6	0.9	0.5	4.4	0.2	0.3	1.4	0.5	0.4	0.7	0.4		
年代	20代	(585)	3.5	0.9	0.8	1.5	0.3	0.6	1.2	1.7	1.1	0.6	4.0	3.1	25.3	4.1	2.2	0.9	0.4	0.8	0.5	1.4	1.0	2.9	9.0	1.2	0.7	1.8	8.3	2.2	0.4	0.4	0.4	0.4	1.9	3.5	1.5	0.2	0.7	0.2	0.1	4.3	0.3	0.4	1.9	0.7	0.2	0.4	0.2		
	30代	(741)	4.6	0.3	0.4	1.6	0.4	0.1	0.8	1.8	1.6	2.5	4.4	1.7	21.1	7.8	2.5	0.5	0.2	0.2	-	1.1	0.8	1.4	6.9	1.6	1.2	4.1	8.9	4.8	1.2	0.4	0.6	0.5	1.3	1.8	1.1	0.9	0.6	1.1	0.6	3.4	0.4	-	0.6	0.4	0.7	0.4	0.6		
	40代	(909)	6.5	0.7	0.8	0.9	0.5	1.0	1.3	2.2	2.4	0.7	2.6	3.3	23.4	5.8	1.9	0.3	2.1	-	-	1.2	1.2	2.4	8.0	1.8	1.6	1.3	8.1	4.3	-	0.3	-	0.2	1.8	1.1	0.9	0.2	0.5	0.4	1.1	3.4	0.5	-	0.8	0.8	0.5	0.2	0.5		
	50代	(765)	4.3	1.0	1.0	1.6	1.1	1.0	0.7	1.7	1.1	1.0	2.5	3.0	23.7	6.0	1.8	0.7	0.9	0.4	0.5	1.9	1.3	2.9	6.3	0.8	0.9	1.9	11.3	3.6	0.5	0.4	0.2	0.5	1.1	2.2	0.6	0.3	0.2	0.9	0.6	3.3	0.3	0.5	1.0	0.8	0.8	0.9	-		
未婚 共働き	既婚	(1637)	5.2	0.8	0.8	1.4	0.8	0.7	0.7	1.7	1.7	1.2	4.1	2.6	22.7	5.6	2.1	0.5	1.2	0.2	0.1	1.3	1.3	2.4	6.9	1.1	1.3	2.7	9.8	3.9	0.4	0.3	0.2	0.6	1.5	1.4	1.0	0.4	0.5	0.5	0.6	4.0	0.3	0.1	1.3	0.7	0.8	0.4	0.3		
	共働き	(1066)	4.4	1.0	1.2	1.5	0.7	0.9	0.6	1.9	1.6	1.2	3.9	2.6	24.9	4.7	2.1	0.7	1.2	0.3	0.1	1.9	0.8	2.9	6.1	1.7	1.3	2.2	8.6	3.4	0.4	0.5	0.3	0.9	1.6	1.6	0.6	0.6	0.5	0.6	0.8	3.4	0.4	0.2	1.0	0.8	0.6	0.5	0.2		
	共働きでない	(571)	6.7	0.5	-	1.1	0.8	0.5	0.8	1.4	1.9	1.2	4.4	2.5	18.7	7.3	1.9	0.1	1.4	0.1	0.1	0.3	2.3	1.2	8.4	-	1.5	3.7	12.0	4.8	0.4	-	-	-	1.4	0.9	1.6	-	0.4	0.2	0.2	5.0	-	-	1.7	0.5	1.1	0.3	0.5		
	未婚	(1363)	4.4	0.6	0.8	1.4	0.4	0.7	1.3	2.1	1.5	1.2	2.4	3.1	23.9	6.5	2.1	0.7	0.7	0.5	0.4	1.5	0.9	2.4	8.1	1.6	0.9	1.6	8.4	3.8	0.5	0.4	0.4	0.2	1.5	2.8	1.0	0.4	0.6	0.9	0.7	3.0	0.6	0.3	0.8	0.7	0.3	0.5	0.4		

(%)

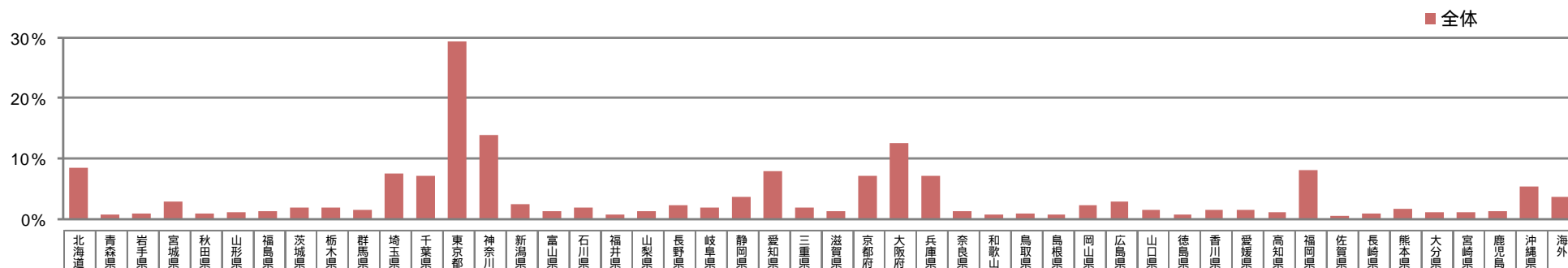
: 全体より+10pt以上 : 全体より 10pt以下



## 1-2．今後働いてみたい都道府県（Q1）

- 今後働いてみたい都道府県は「東京都」が29.4%で最も高い。次いで「神奈川県」、「大阪府」などの都市圏が上位になるほか、地方では「北海道」「沖縄県」がやや高い傾向になる。

Q.あなたの「現在の勤務地」「現在の居住地」「今後働いてみたい都道府県」をお選びください。



性別		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外
全体 (3000)		8.5	0.6	0.9	2.8	0.9	1.1	1.3	1.8	1.8	1.5	7.5	7.0	29.4	13.8	2.4	1.2	1.8	0.6	1.2	2.2	1.9	3.7	7.9	1.8	1.3	7.0	12.6	7.1	1.3	0.7	0.8	0.7	2.3	2.9	1.4	0.6	1.4	1.4	1.1	8.0	0.5	0.9	1.7	1.1	1.1	1.2	5.4	3.7
女性	全体 (1071)	8.6	0.5	1.2	3.0	1.0	1.2	1.4	2.4	2.1	1.7	7.8	8.4	30.2	14.6	2.4	1.0	1.7	0.7	1.2	2.3	2.2	4.5	8.4	1.5	1.1	6.7	13.7	7.4	1.6	0.8	0.9	0.8	3.0	3.0	1.3	0.7	1.8	1.8	1.5	8.7	0.5	1.0	1.6	1.2	1.3	1.5	6.2	4.0
	20代 (585)	8.3	0.9	0.4	2.5	0.5	1.0	1.1	0.9	1.3	1.0	6.8	4.6	28.0	12.3	2.3	1.5	1.8	0.6	1.3	2.1	1.3	2.4	6.9	2.4	1.8	7.6	10.6	6.5	0.8	0.5	0.6	0.7	1.2	2.6	1.6	0.4	0.9	0.9	0.5	6.7	0.3	0.8	1.8	0.9	0.8	0.6	4.0	3.3
年代	30代 (741)	7.7	0.7	0.7	3.3	1.0	0.8	1.8	1.3	2.1	2.0	9.7	8.4	37.3	15.1	3.3	1.8	1.8	1.0	1.0	1.8	1.6	4.5	10.8	1.9	1.5	8.1	15.2	6.8	1.5	0.9	1.2	0.9	2.4	4.1	1.8	0.9	1.3	1.0	0.7	11.2	0.9	1.6	2.8	0.9	0.6	0.9	5.8	4.1
	40代 (909)	8.6	0.3	1.0	2.3	0.5	1.0	1.4	1.8	1.3	1.2	7.9	8.3	29.5	16.0	2.0	1.3	2.3	0.7	1.7	2.4	2.1	3.3	8.6	2.4	1.3	10.4	13.8	10.7	2.2	1.0	0.6	0.5	2.0	2.1	1.2	0.5	1.8	1.7	1.4	6.5	0.3	0.3	1.6	1.1	1.3	1.5	6.0	5.5
	50代 (765)	9.9	0.7	1.1	2.9	0.8	1.2	1.2	2.7	2.4	1.6	8.2	6.9	28.4	12.2	2.4	0.6	1.4	0.3	1.0	2.3	2.1	3.3	7.8	1.8	1.5	6.0	10.6	6.8	0.8	0.3	0.8	1.0	3.4	3.1	1.4	0.4	1.8	1.5	1.5	6.9	0.3	0.9	1.6	1.0	0.9	0.9	5.3	2.0
	未既婚 (1637)	7.4	0.7	0.8	2.8	1.2	1.2	1.0	1.2	1.5	1.2	4.4	4.9	24.5	12.5	2.0	1.3	1.6	0.7	1.2	2.3	1.8	4.0	5.0	1.2	1.1	4.0	11.7	4.2	0.9	0.8	0.4	0.5	1.4	2.4	1.3	0.7	0.8	1.5	0.9	8.2	0.5	0.9	1.1	1.4	1.5	1.3	4.8	3.7
未婚・共働き	共働き (1066)	8.4	0.7	1.0	2.7	1.0	1.2	1.4	2.2	1.5	1.4	6.8	5.4	26.1	11.5	2.3	1.4	1.5	0.6	1.4	2.4	1.7	3.4	7.0	1.9	1.8	6.4	11.0	6.0	1.4	0.5	0.5	0.6	1.8	2.5	1.1	0.5	1.3	1.5	0.8	7.6	0.3	0.8	1.9	1.0	1.2	1.3	4.9	3.4
	共働きでない (571)	7.5	0.8	1.3	3.1	0.8	1.2	1.5	2.1	1.7	2.1	6.1	5.1	28.6	13.5	2.0	1.4	1.7	0.7	1.1	2.3	1.6	3.7	6.1	1.9	2.0	5.7	9.5	5.5	0.9	0.4	0.6	0.8	2.0	2.7	0.7	0.4	0.8	1.2	0.7	7.2	0.4	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	4.4	3.9
	未婚 (1363)	9.9	0.5	0.6	1.9	1.4	1.0	1.2	2.4	1.2	0.1	8.0	5.9	21.4	7.9	3.0	1.4	1.2	0.5	2.2	2.7	1.9	3.0	8.7	1.9	1.5	7.7	13.7	6.8	2.2	0.6	0.2	0.2	1.4	2.0	1.8	0.9	2.1	2.0	1.1	8.3	0.2	0.3	3.3	0.9	1.7	1.8	5.8	2.6
	未婚 (1363)	8.7	0.6	0.8	3.0	0.7	1.0	1.3	1.4	2.2	1.6	8.2	9.0	33.4	16.5	2.4	1.0	2.0	0.6	1.0	2.0	2.2	4.1	8.8	1.8	0.8	7.7	14.5	8.4	1.3	1.0	1.1	0.9	3.0	3.4	1.8	0.6	1.6	1.4	1.6	8.4	0.6	1.1	1.5	1.2	0.9	1.0	6.0	4.1

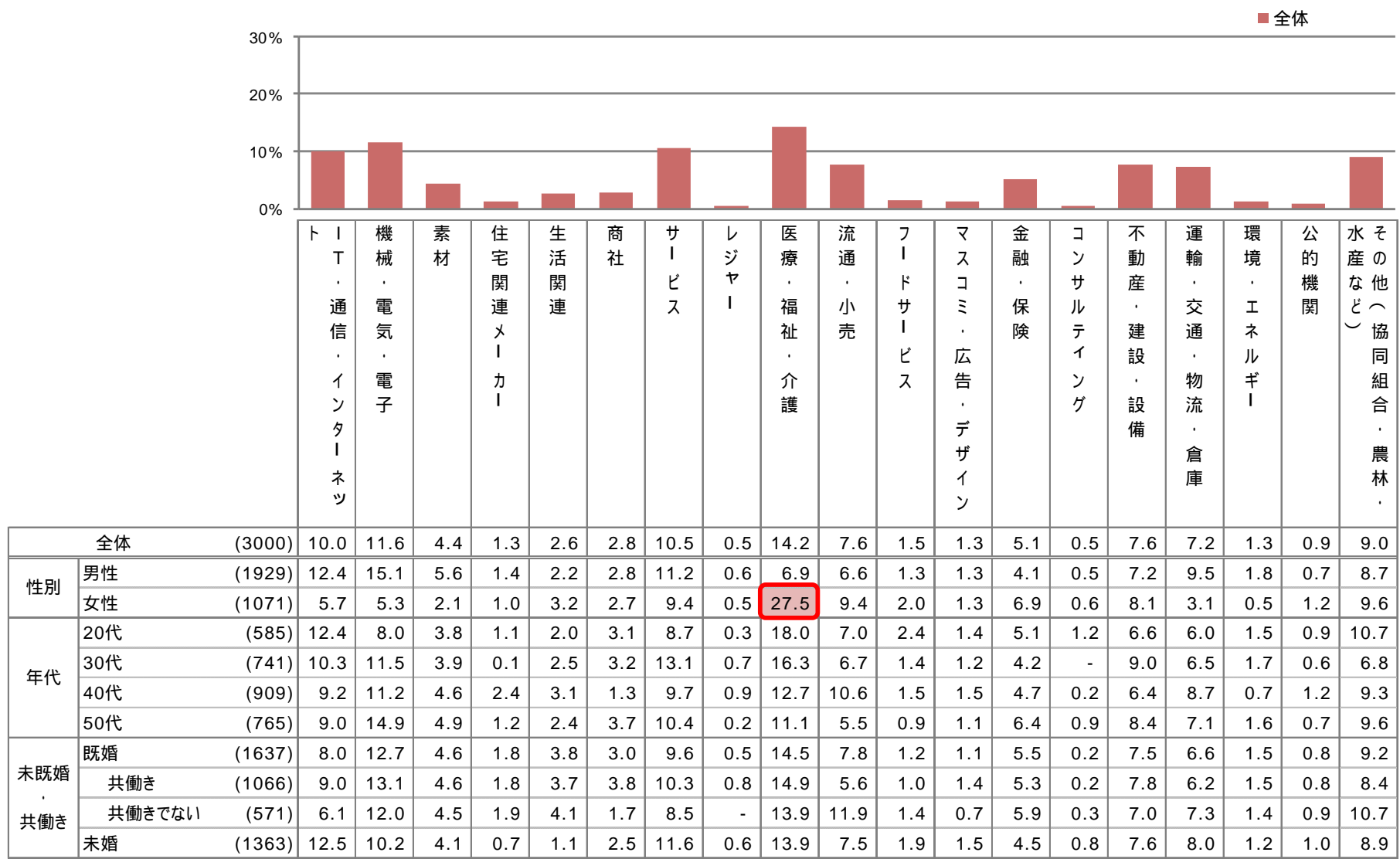
(%)

：全体より+10pt以上      ：全体より 10pt以下

# 1-3 . 現在の業種 ( Q3 )

- 現在の業種は「医療・福祉・介護」が14.2%で最も高い。次いで「機械・電気・電子」「サービス」「IT・通信・インターネット」が上位に挙がる。
- 性別にみると「医療・福祉・介護」は特に女性で高く、27.5%にのぼる。

Q. あなたの現在の業種をお答えください。

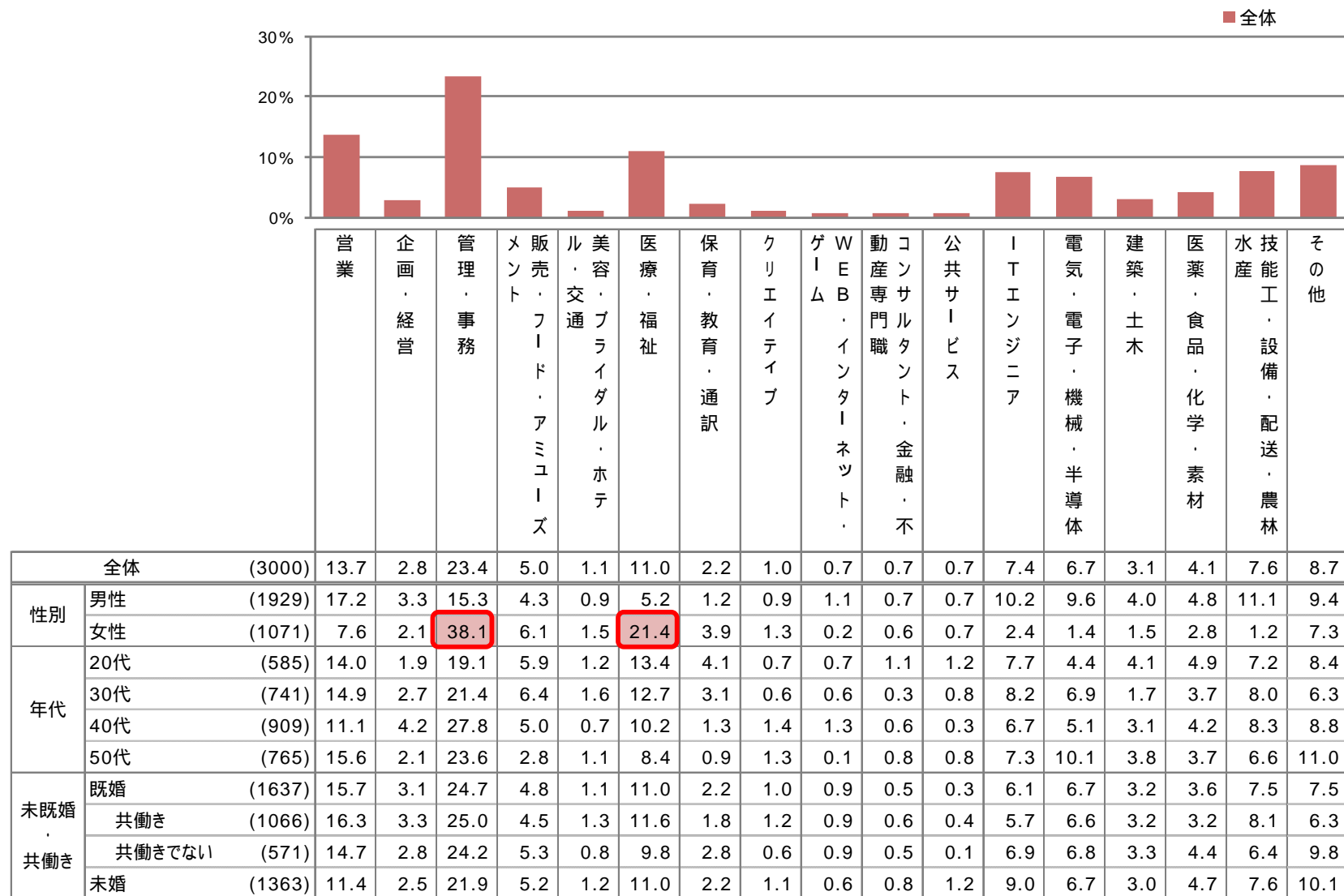


：全体より+10pt以上      ：全体より 10pt以下      (%)

## 1-4 . 現在の職種（Q4）

- 現在の職種は「管理・事務」が23.4%で最も高い。次いで「営業」「医療・福祉」が上位に挙がる。
- 性別にみると「管理・事務」「医療・福祉」は特に女性で高い。

Q. あなたの現在の職種をお答えください。

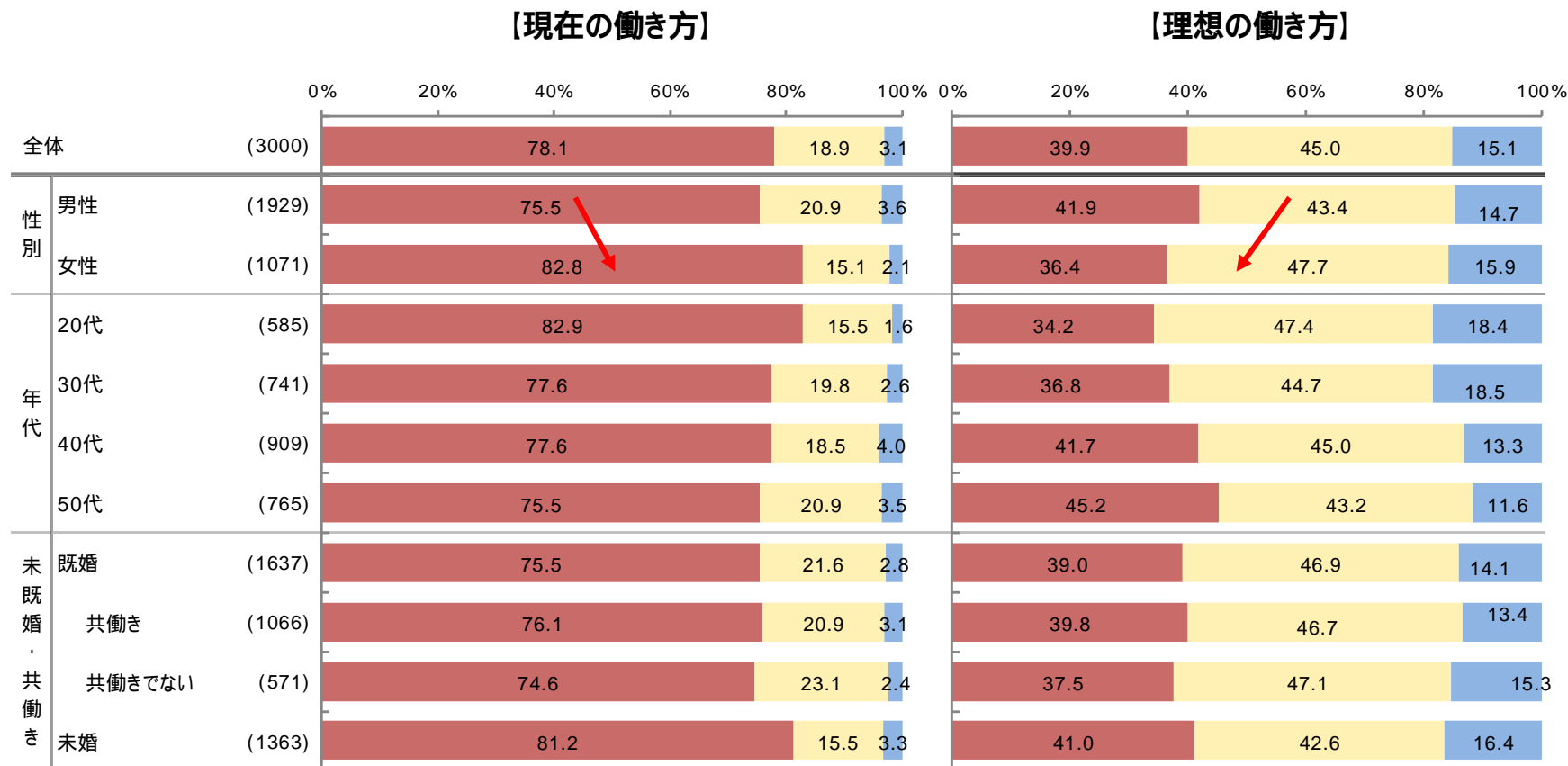


：全体より+10pt以上      ：全体より 10pt以下      (%)

## 1-5．現在の働き方と理想の働き方（Q5）

- 現在の働き方は、「全て出社する働き方」が78.1%で最も高い。性別で見ると、女性の方が「全て出社する働き方」が82.8%とやや高くなっている。
- 理想の働き方は、「出社とリモートワーク（在宅）を組み合わせた働き方」が45.0%で最も高く、【現在の働き方】と比べても26.1pt高い。「フルリモートの働き方」も【現在の働き方】より12.0pt高く、リモートワークで働きたいという意向は強い。特に女性でリモートワーク意向が強い傾向が強くなっている。

Q.あなたの働き方にもっとも近いものをお答えください。



■ 全て出社する働き方（職場と自宅・職場以外のワークスペースは完全に別）

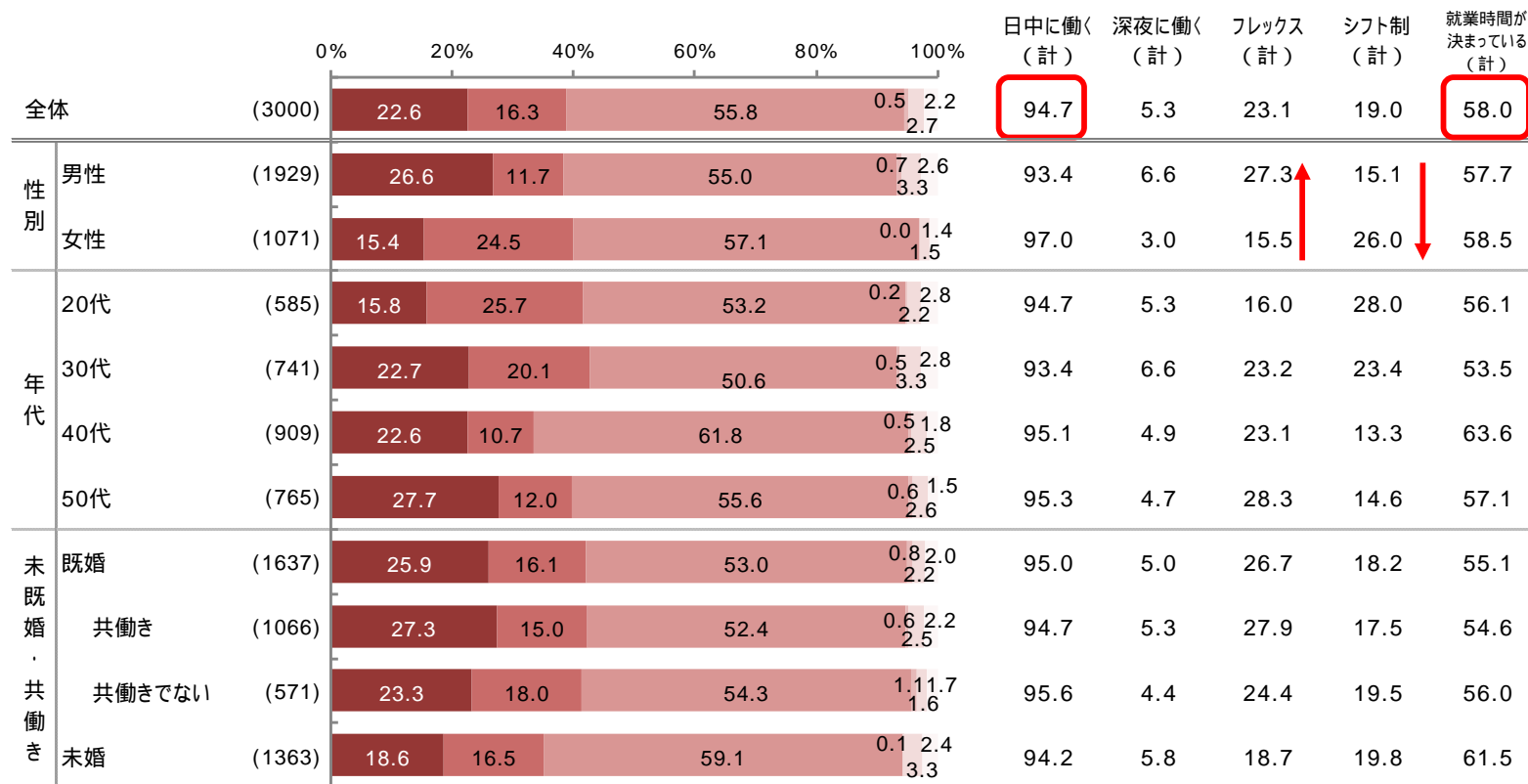
■ 出社とリモートワーク（在宅）を組み合わせた働き方（職場と自宅・職場以外のワークスペースの組み合わせ）

■ フルリモートの働き方（職場と自宅・職場以外のワークスペースが完全に同一）

## 1-6 . 働く時間・勤務形態（Q6）

- 働く時間としては「日中に働く（計）」が94.7%と顕著に高く、「深夜に働く（計）」は5.3%と非常に低い。
- 勤務形態は「就業時間が決まっている（計）」が58.0%と高く、「フレックス（計）」「シフト制（計）」はそれぞれ2割前後となった。性別でみると、「就業時間が決まっている（計）」では男女差がないが、「フレックス（計）」では男性が高く、「シフト制（計）」では女性が高くなっている。

Q.あなたの働く時間で、もっとも近いものをお答えください。

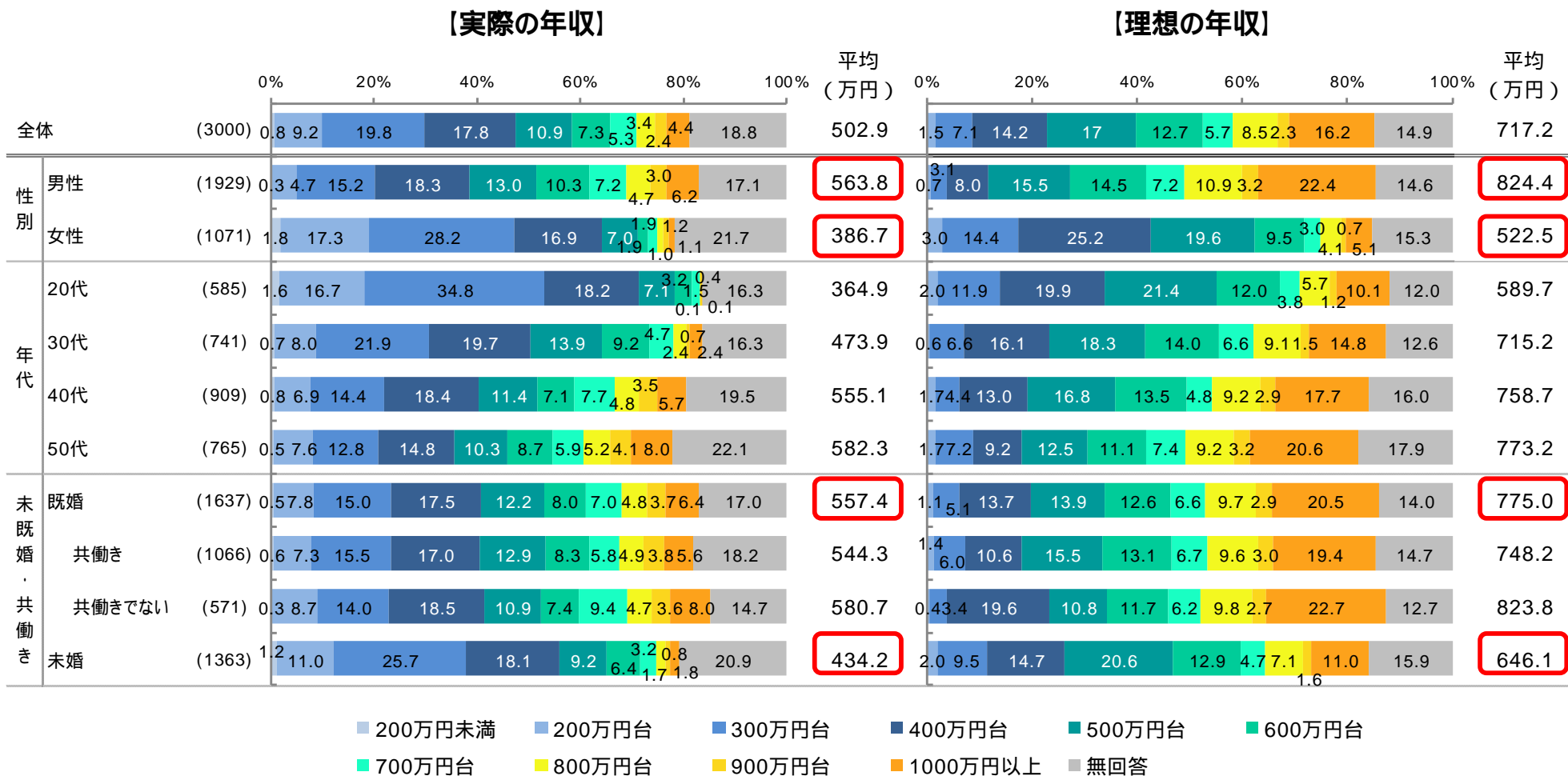


- フレックスタイム制・裁量労働制で日中に働いている
- シフト制で日中に働いている
- 就業時間が決められており、日中の決まった時間に働いている
- フレックスタイム制・裁量労働制で主に深夜に働いている
- シフト制で主に深夜に働いている
- 就業時間が決められており、主に深夜の決まった時間に働いている

# 1-7 . 個人年収 (Q7)

- 実際の年収の平均は502.9万円。性別で年収を比べるとおよそ180万円、未婚で年収を比べると、およそ120万円の差がある。
- 理想の年収の平均は717.2万円。性別、未婚で差が開く傾向は実際の年収と変わりはない。

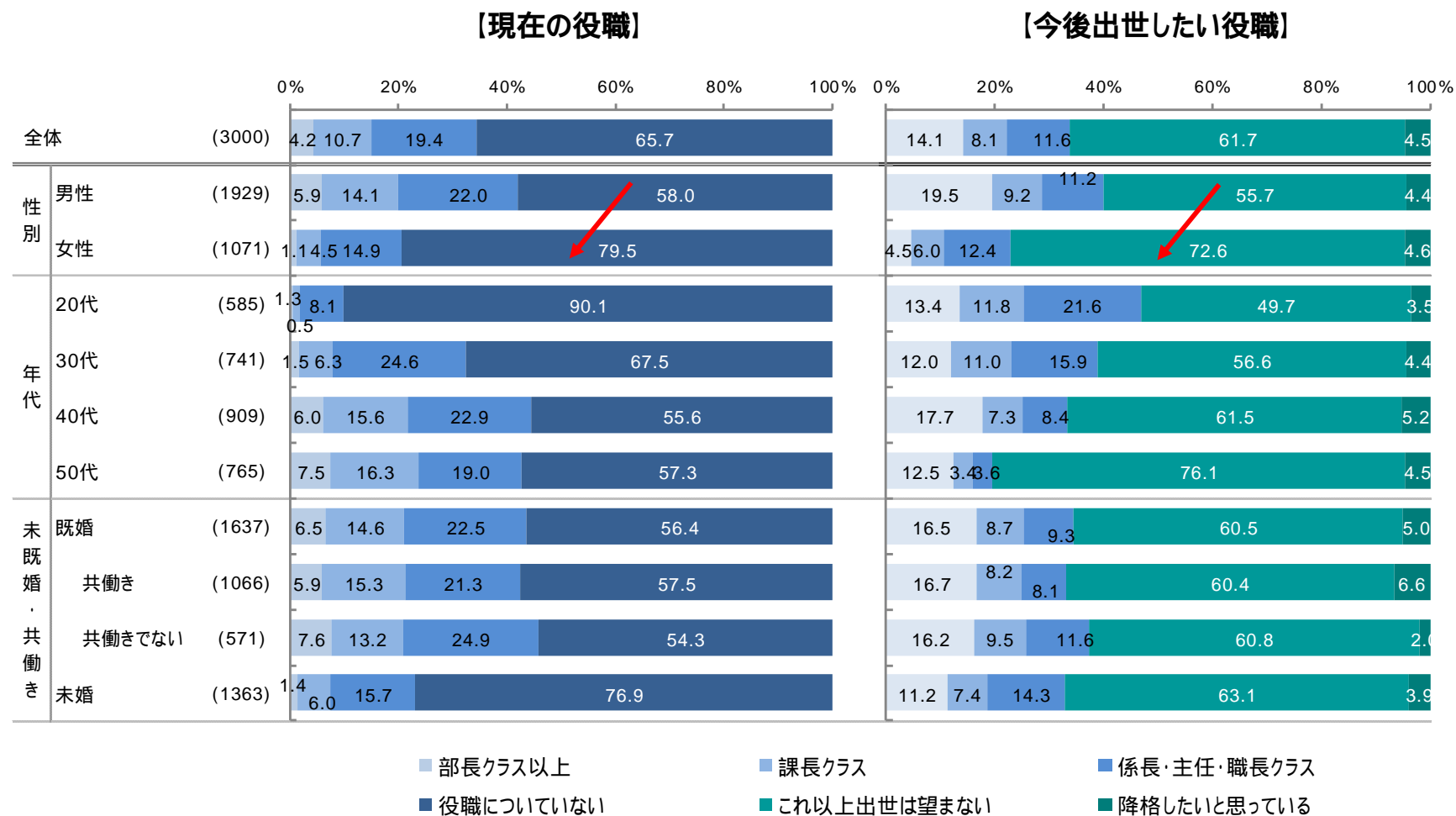
Q. あなたご自身の年収（税込の総支給額）、ご自身の理想の年収（税込の総支給額）についてお答えください。



## 1-8 . 現在の役職・今後の出世意向 ( Q8 )

- 現在の役職としては「役職についていない」が65.7%と最も高い。性別でみると、「役職についていない」は男性で58.0%に対し、女性で79.5%と男女差が21.5ptとなる。
- 今後出世したい役職は「これ以上出世は望まない」が61.7%と最も高い。性別でみると、「これ以上出世は望まない」は男性が55.7%に対し、女性で男女差が72.6%と16.9ptとなる。

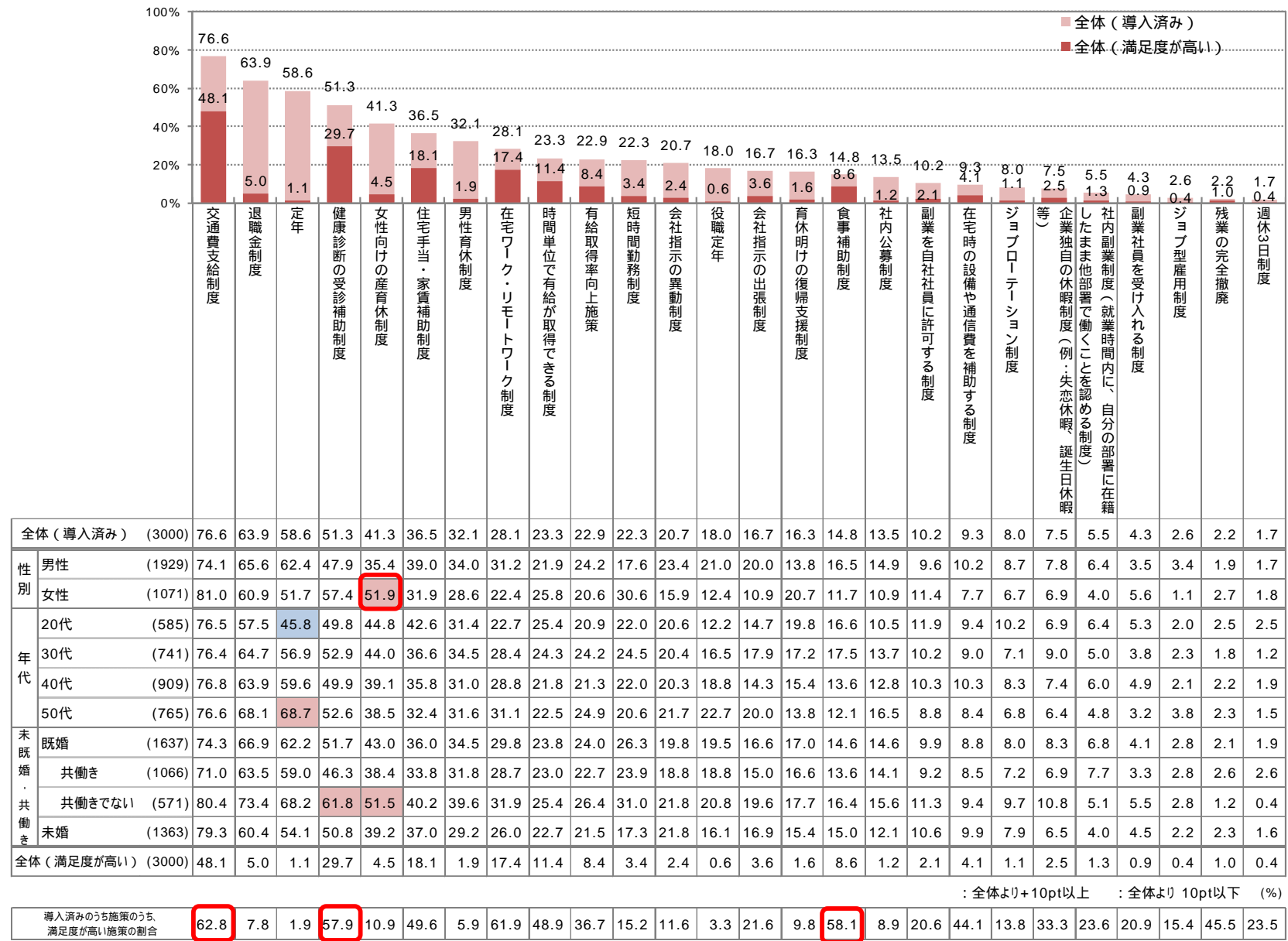
Q. 現在の勤務先での役職をお答えください。また、今後どこまで出世したいかについてもお答えください。



# 1-9 . 導入済みの従業員向け施策/利用して満足度が高い従業員向け施策 (Q11)

- 導入されている従業員向け施策としては「交通費支給制度」が76.6%で最も高く、次いで「退職金制度」「定年」「健康診断の受診補助制度」が高い。性別では、女性で「女性向けの産育休制度」が高く、女性が産育休制度が整っている会社を選んで就職している傾向が窺える。
- 導入されている従業員向け施策のうち、実際に利用して満足度が高い施策としては交通費支給制度「健康診断の受診補助制度」「食事補助制度」が挙げられる。

Q.あなたが勤める会社の「従業員向けの制度や施策」についてお答えください。

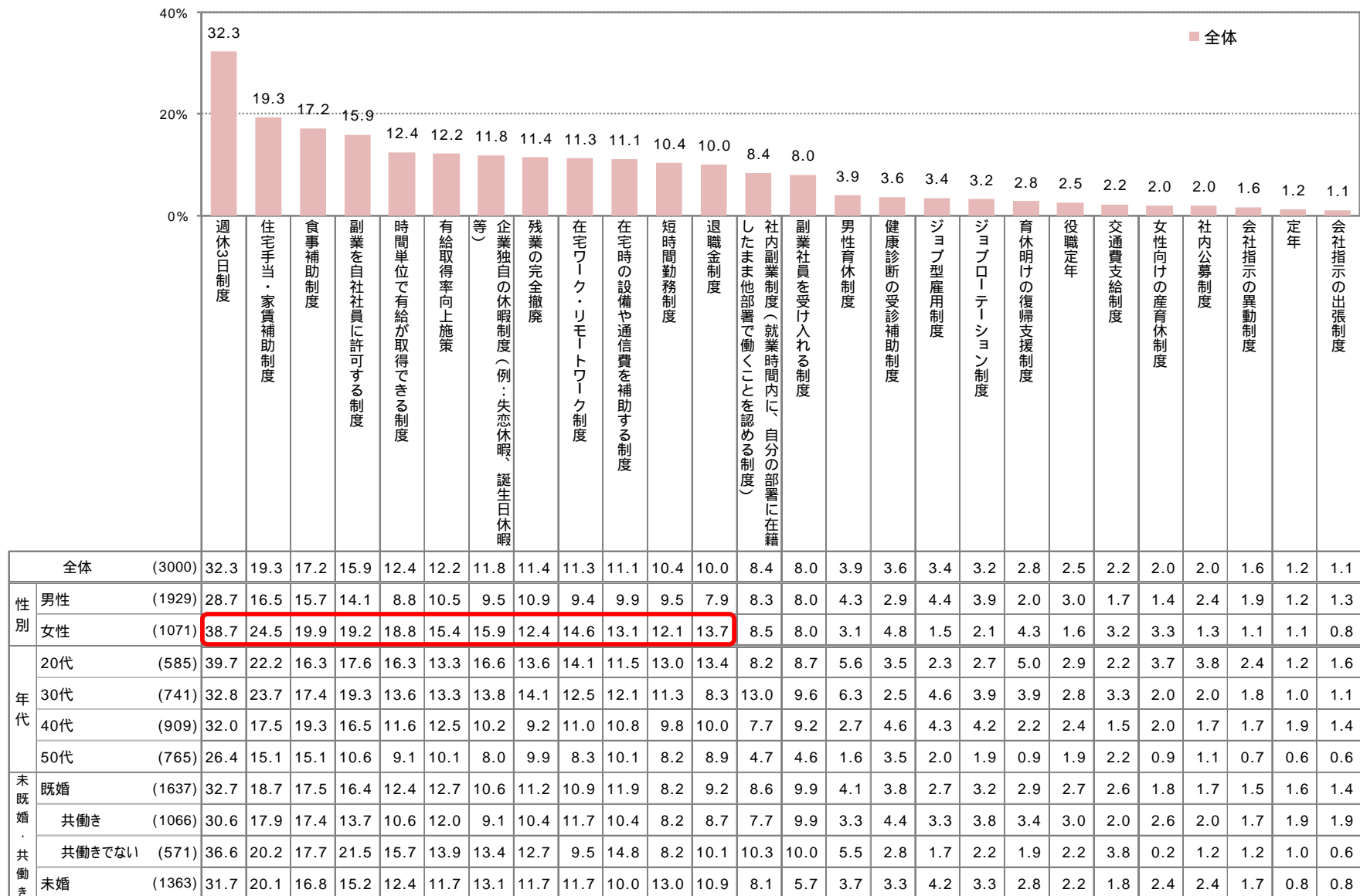




# 1-10 . 今は導入されていないが、導入されてほしい従業員向け施策（Q10）

- 今は導入されていないが、導入されてほしい従業員向け施策としては「週休3日制度」が32.3%と顕著に高い。次いで「住宅手当・家賃補助制度」「食事補助制度」「副業を自社社員に許可する制度」が高くなっている。
- 上位に挙がった項目は特に女性で高い傾向があり、男性よりも女性の方が福利厚生・職場環境に敏感になっている。

Q.あなたが勤める会社の「従業員向けの制度や施策」についてお答えください。



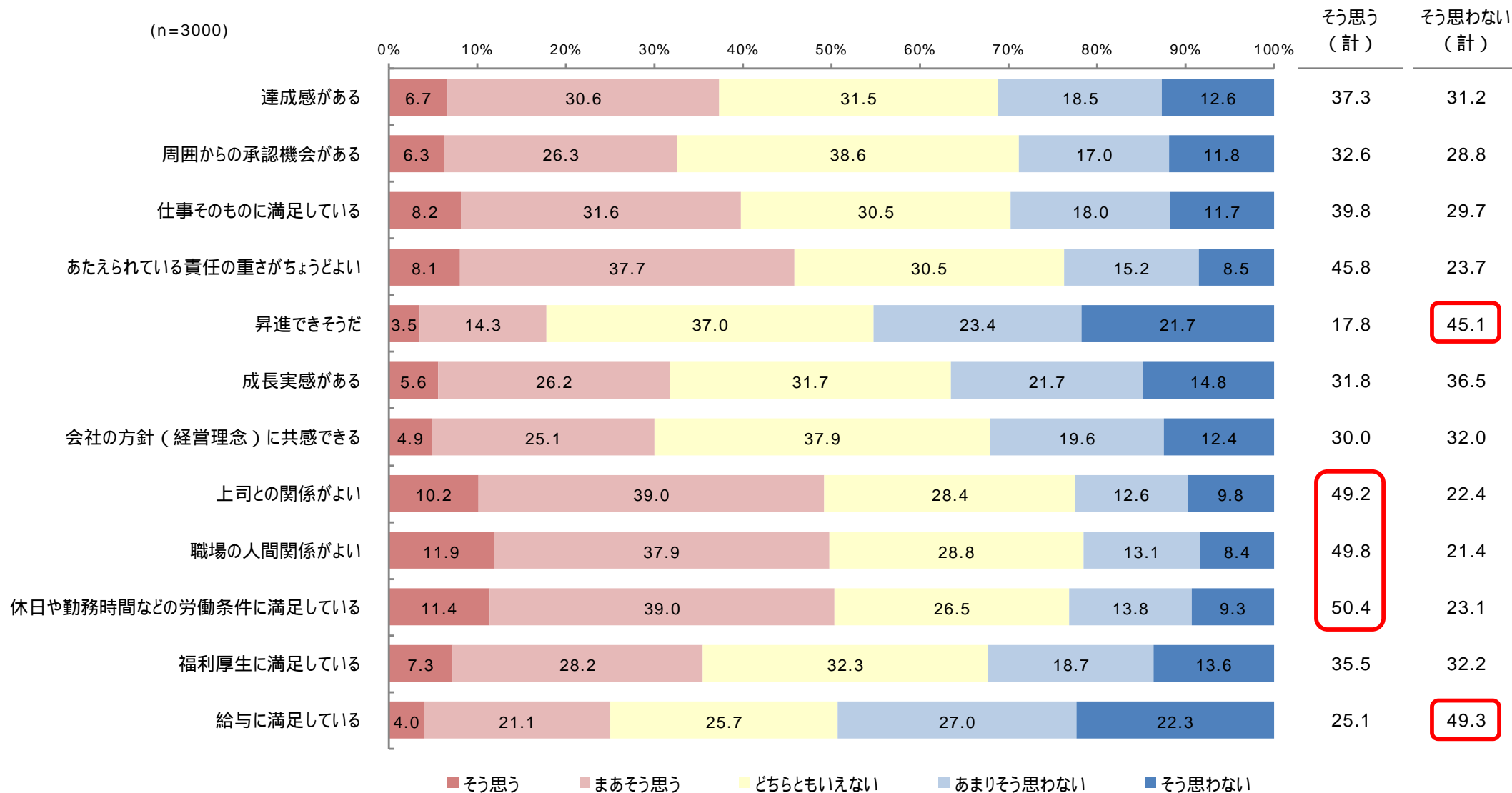
：全体より+10pt以上   ：全体より 10pt以下   (%)

## 1-11 . 職場環境 (Q11)

- 職場環境としては『上司との関係がよい』『職場の人間関係がよい』『休日や勤務時間などの労働条件に満足している』が「そう思う（計）」がそれぞれおよそ半数となっている。一方で、『昇進できそう』『給与に満足している』は「そう思わない（計）」がそれぞれおよそ約半数となっている。

Q.現在の職場環境についてお答えください。

(n=3000)



## 1-12 . ネガティブな職場環境への対処 ( Q12 )

- ネガティブな職場環境への対処としてはいずれの項目においても「転職活動をして職場を変える」「特にない」が上位に挙げられる。ほとんどの項目では「特にない」の方が高く、何もしないことの方が多くなるが、「仕事そのものに満足していない」「休日や勤務時間などの労働条件に満足していない」「給与に満足していない」では「転職活動をして職場を変える」が高く、これらへの不満が離職に繋がりがやすくなっている。

Q. 前問で「あまりそう思わない」「そう思わない」と選択した項目について、今後どのような行動をとりますか。

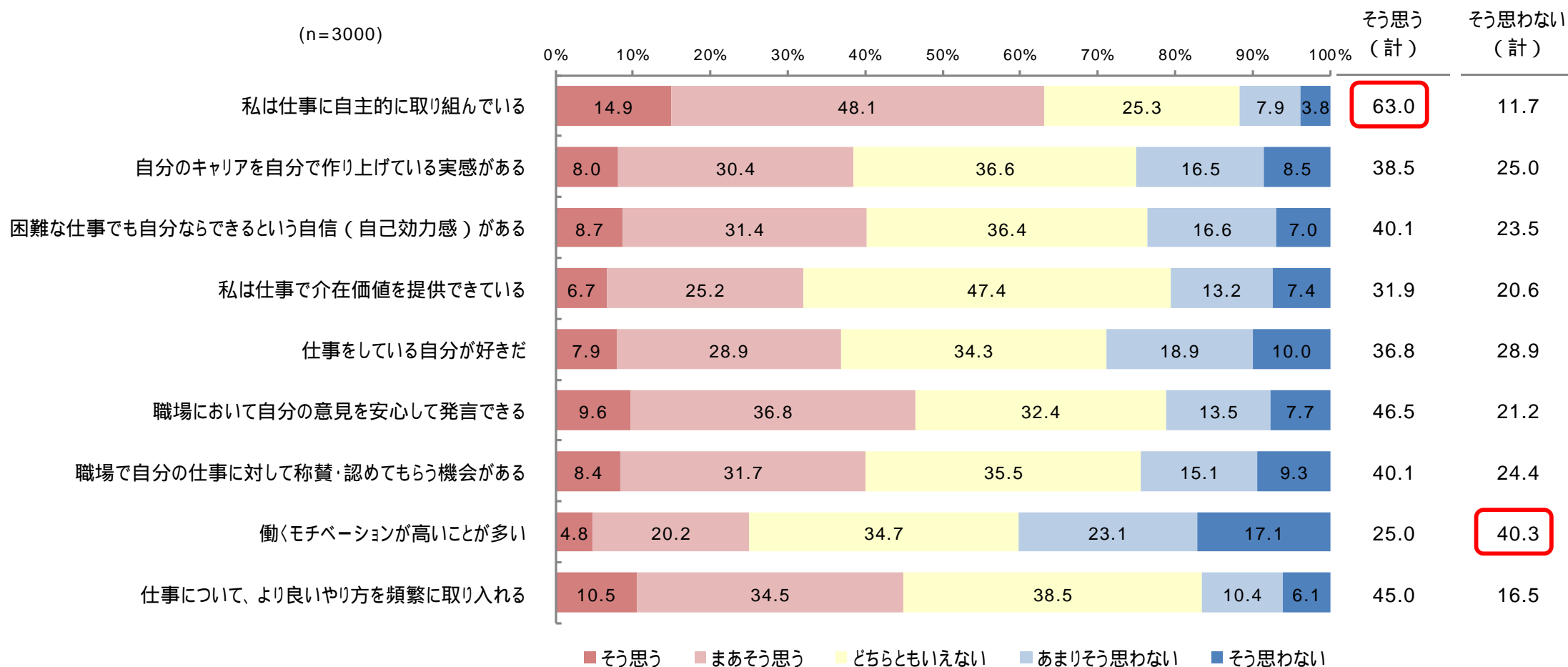
		転職活動をして職場を変える	社内で異動希望を出す	人に問題解決に協力してくれないかと頼む	不満足な事柄に対する情報を集める	副業を始める	自己研鑽をして能力を高める	より真剣に仕事に取り組む	先のことはあまり考えないようにする	愚痴を言って気分転換する	休暇をとる	趣味や家庭など仕事以外のことを充実させる	問題の原因を明確にする	自分を励まし、我慢する	その他	特にない
達成感がない	(935)	18.0	6.3	1.4	2.9	9.0	7.3	5.2	12.7	5.3	11.0	16.5	4.5	11.2	0.2	32.1
周囲からの承認機会がない	(863)	12.7	3.9	1.7	3.4	5.3	7.5	3.9	12.8	7.0	10.4	9.8	3.4	10.8	0.4	42.3
仕事そのものに満足していない	(892)	29.3	5.9	3.0	3.5	11.0	11.2	5.4	12.0	10.9	13.6	17.8	6.8	12.6	0.4	22.9
あたえられている責任の重さに不満がある	(711)	18.5	7.4	6.7	4.4	7.8	7.8	6.4	8.7	14.4	13.3	11.0	8.8	18.0	0.4	29.9
昇進できなさそう	(1354)	15.4	2.1	1.6	1.6	10.7	7.5	5.3	15.4	5.5	7.6	11.1	2.1	7.7	1.0	44.8
成長実感がない	(1095)	16.9	5.6	2.0	3.7	9.8	11.3	4.7	12.3	6.7	8.2	14.0	4.2	10.4	0.1	35.5
会社の方針（経営理念）に共感できない	(961)	21.8	2.7	2.7	3.5	7.5	5.3	3.6	17.7	15.5	7.8	12.0	4.6	10.8	0.4	33.1
上司との関係が悪い	(672)	21.9	7.8	3.5	3.4	6.0	6.9	4.8	17.1	16.9	10.2	14.2	3.8	16.1	0.5	25.9
職場の人間関係が悪い	(643)	20.0	7.7	3.0	4.0	5.1	7.5	3.3	15.4	17.9	10.0	15.7	6.6	17.7	1.3	26.5
休日や勤務時間などの労働条件に満足していない	(692)	25.0	4.1	2.1	5.0	7.6	5.4	4.9	9.3	12.2	19.7	12.7	4.5	15.5	1.0	21.3
福利厚生に満足していない	(967)	18.9	2.2	2.6	4.2	9.3	3.3	2.0	11.7	9.5	14.5	10.3	4.1	10.7	0.6	34.9
給与に満足していない	(1478)	25.5	4.2	1.6	2.7	28.7	10.6	5.9	11.0	9.2	10.7	13.4	3.6	10.1	1.2	20.7

: 上位3項目 (%)

## 1-13．仕事への取り組み方（Q22）

- 仕事への取り組み方としては『私は仕事に自主的に取り組んでいる』で「そう思う（計）」が63.0%と高い。一方で、『働くモチベーションが高いことが多い』は「そう思わない（計）」が40.3となる。

Q.仕事に対する取り組み方についてお答えください。

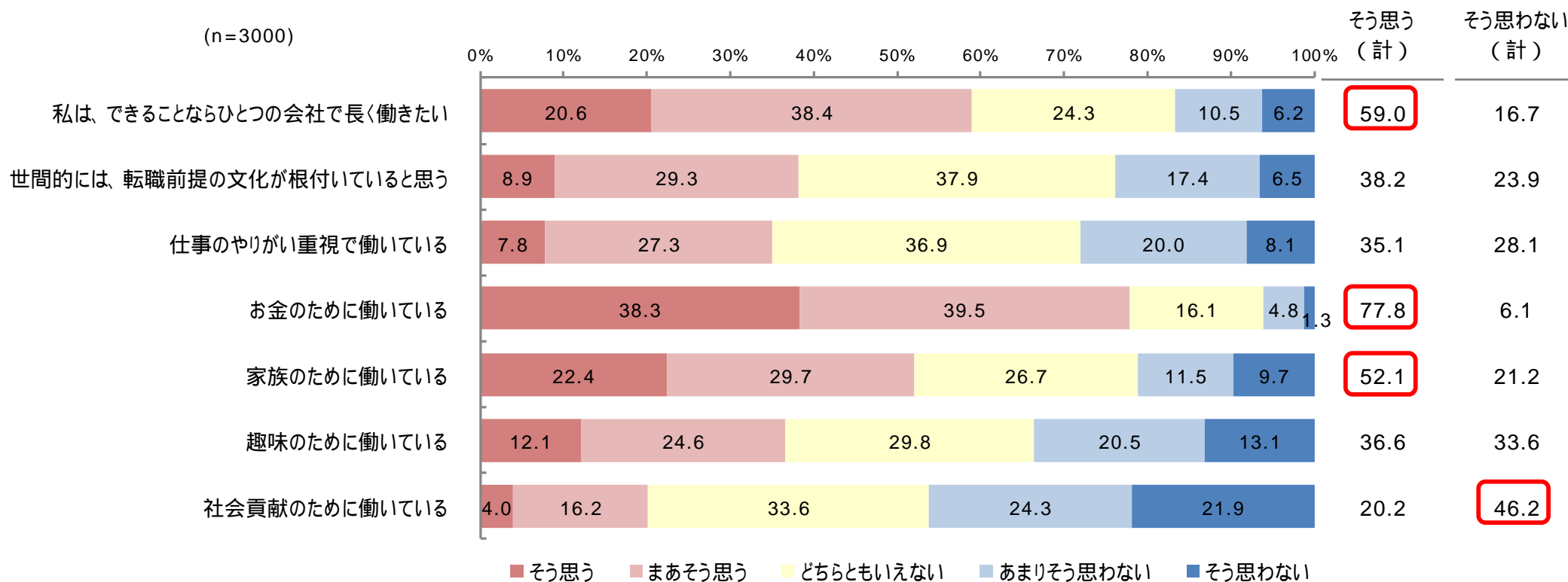


# 1-14 . 仕事の価値観（Q23）

- 仕事の価値観としては、『私は、できることならひとつの会社で長く働きたい』『お金のために働いている』『家族のために働いている』で『そう思う（計）』がそれぞれ半数を超える。一方で、『社会貢献のために働いている』は『そう思わない（計）』が46.2%となる。

Q. 仕事の価値観についてお答えください。

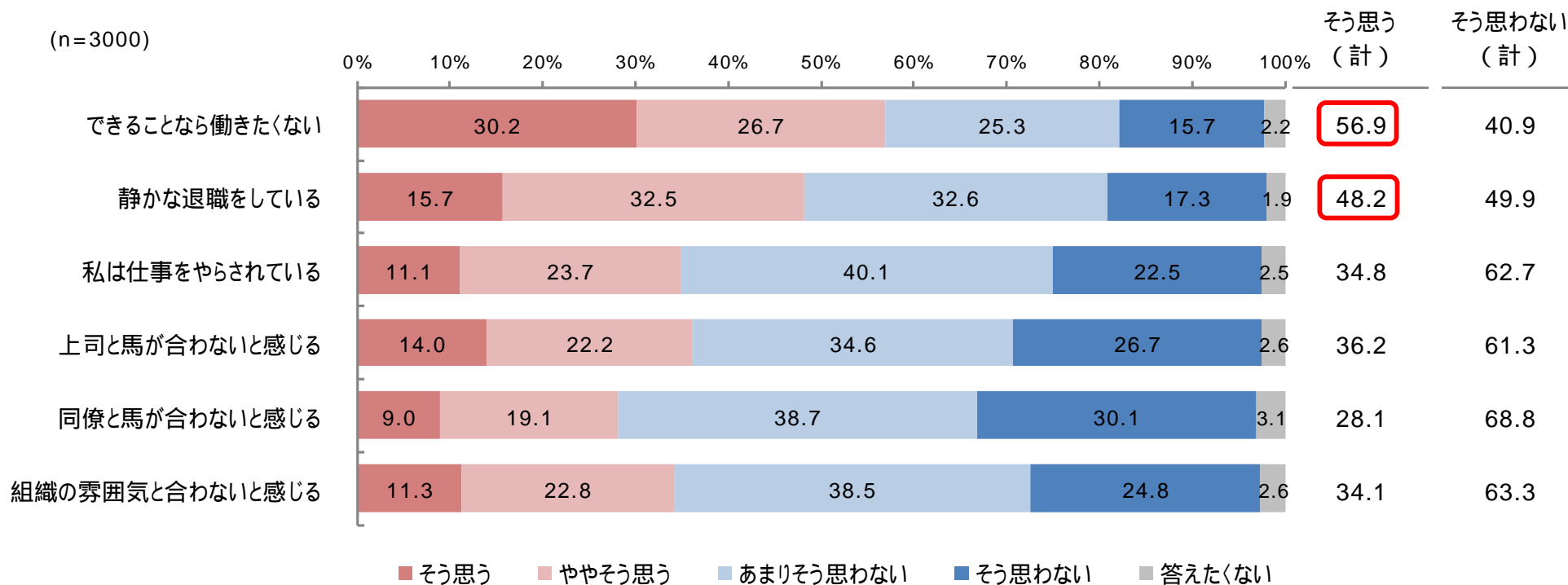
(n=3000)



# 1-15 . 働く上での本音 ( Q24 )

- 働く上での本音では、『できることなら働きたくない』で「思う（計）」が56.9%と高く、『静かな退職をしている』も「思う（計）」が48.2%とおおよそ半数となっている。

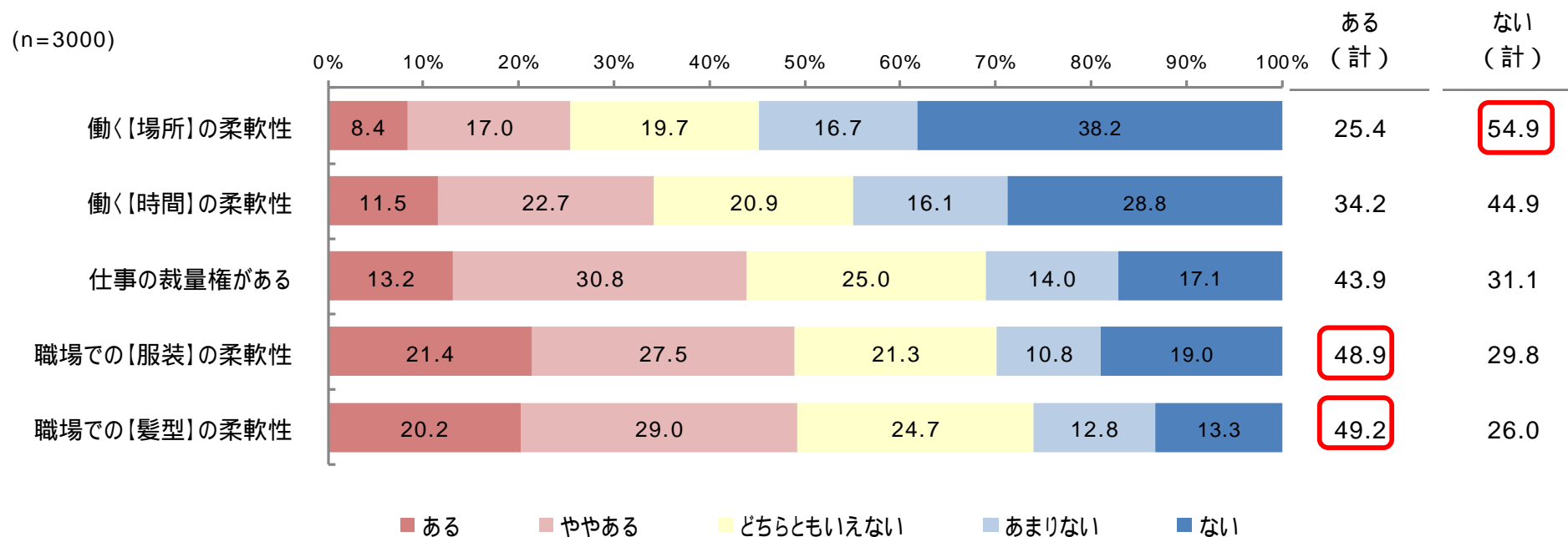
Q.あなたの働く上での本音について、可能な範囲でお答えください。



# 1-16 . 職場環境の柔軟性 ( Q25 )

- 職場環境の柔軟性では、『職場での【服装】の柔軟性』『職場での【髪型】の柔軟性』は「ある（計）」がそれぞれおよそ半数となった。一方で、『働く【場所】の柔軟性』は「ない（計）」が半数を超えた。

Q. 職場環境の柔軟性についてお答えください。

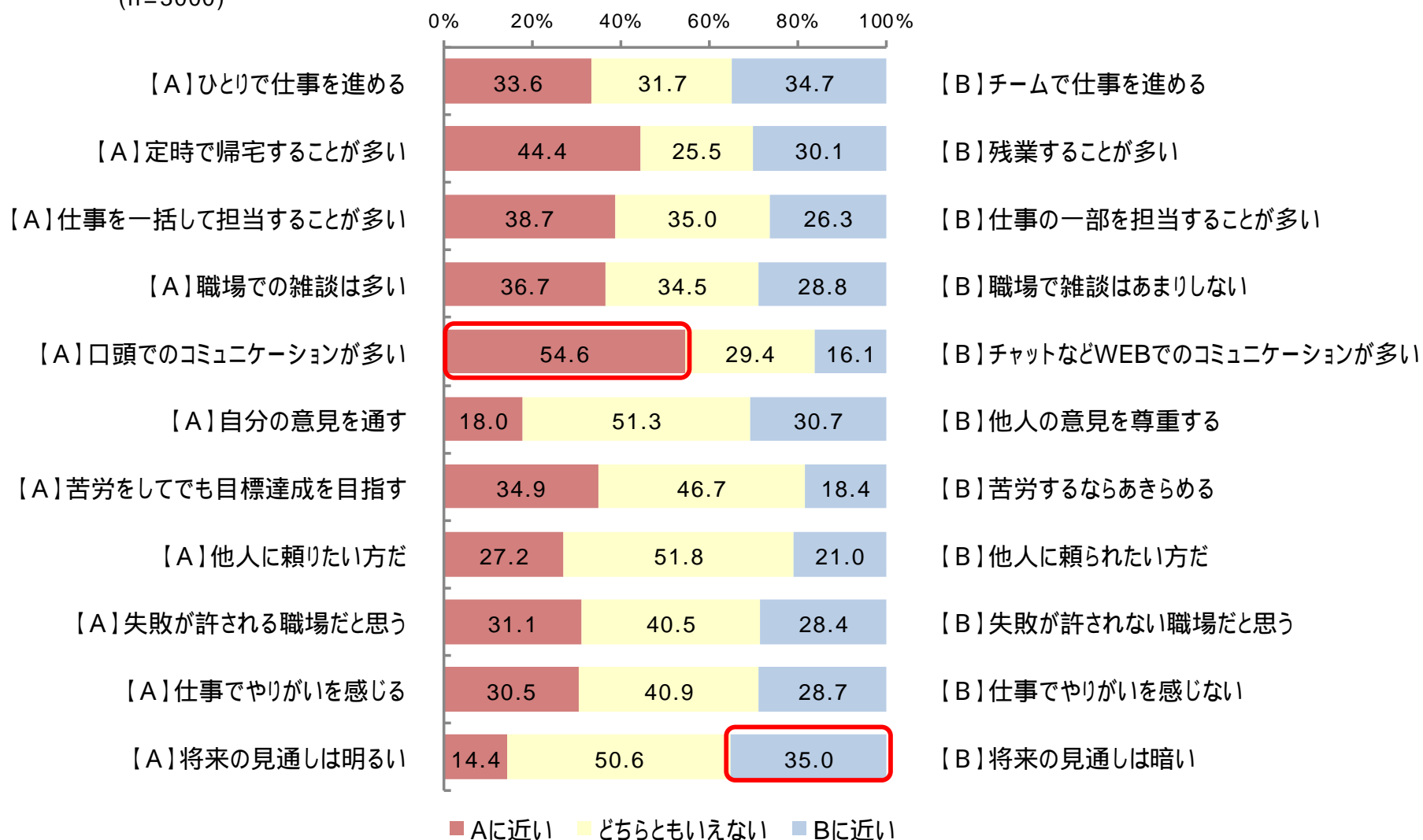


# 1-17 . 仕事のやり方 ( Q26 )

- 仕事のやり方としては、選択肢のどちらかに偏っている項目は少ないものの、「【A】口頭でのコミュニケーションが多い」54.6%、「【B】将来の見通しは暗い」35.0%はそれぞれ反対の選択肢よりも顕著に高くなっている。

Q.あなたの仕事のやり方について、A/Bどちらに近いかお答えください。

(n=3000)



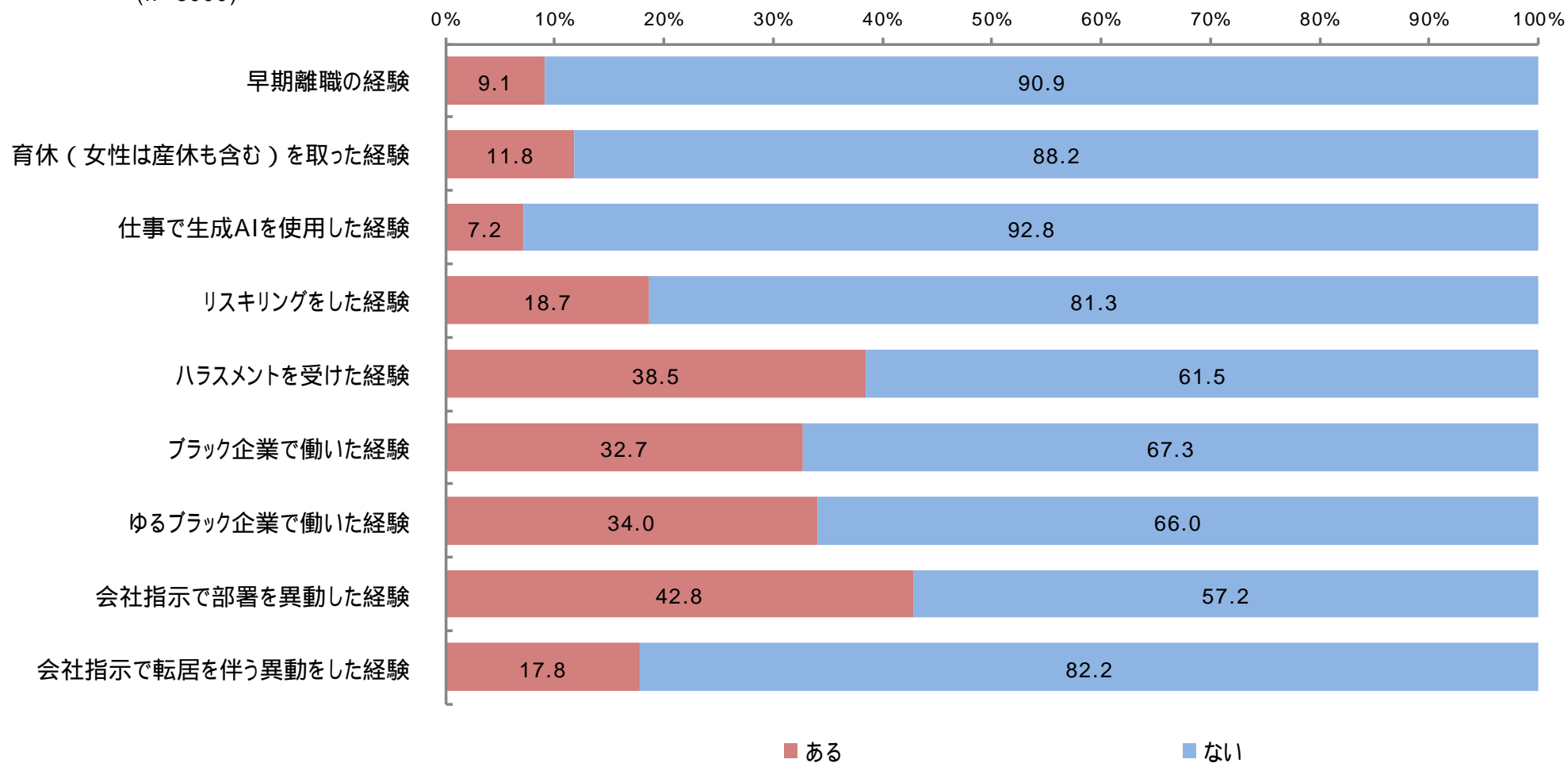


## 1-18．仕事上の経験（Q13）

- 仕事上の経験は、「ある」が『早期離職の経験』9.1%、『育休・産休を取った経験』11.8%、『リスケリングをした経験』18.7%となっている。

Q.あなたは以下の事柄について経験したことがありますか。

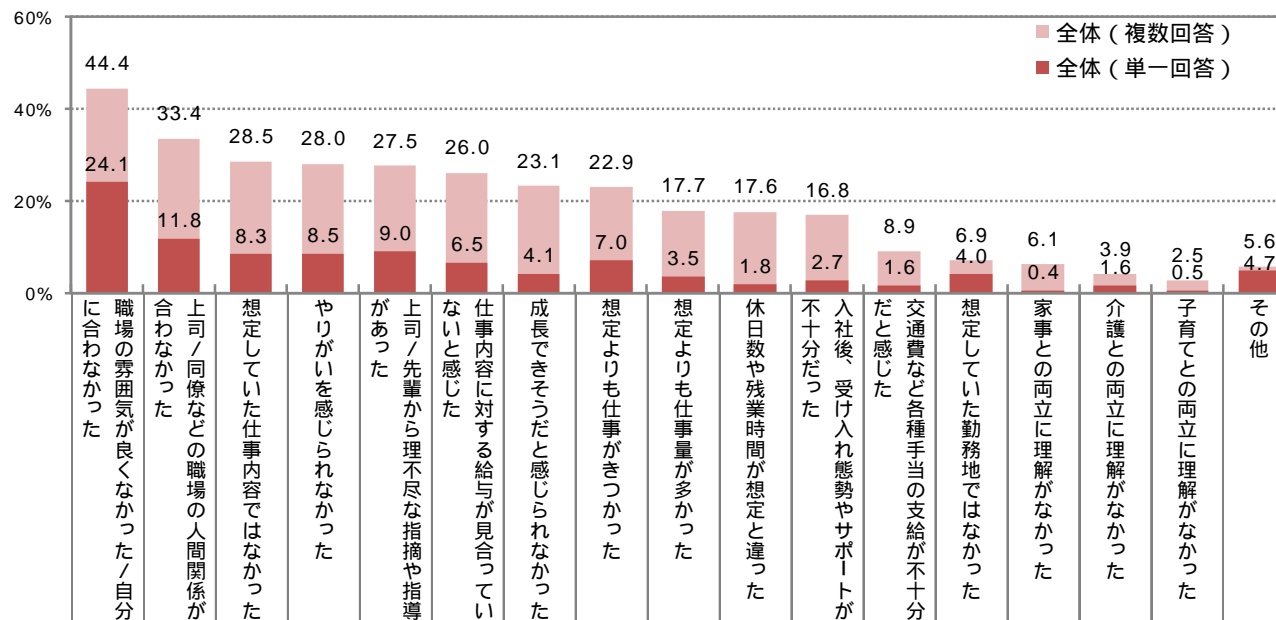
(n=3000)



# 1-19 . 早期退職理由 (Q14)

- 早期退職の理由としては「職場の雰囲気が良くなかった/自分に合わなかった」が最も高く、次いで「上司/同僚などの職場の人間関係が合わなかった」「想定していた仕事内容ではなかった」が挙がる。
- 年代別にみると、20代では「上司/同僚などの職場の人間関係が合わなかった」「仕事内容に対する給与が見合っていないと感じた」等が特に高く、ブラック企業の特徴となる項目が早期退職の理由となっている。

Q.早期離職の理由についてお答えください。



全体 (複数回答)		(272)	44.4	33.4	28.5	28.0	27.5	26.0	23.1	22.9	17.7	17.6	16.8	8.9	6.9	6.1	3.9	2.5	5.6
性別	男性	(172)	44.1	35.1	31.3	32.2	23.2	27.3	22.9	19.9	14.1	15.3	16.8	11.9	5.9	6.6	3.9	2.7	6.0
	女性	(100)	45.0	30.5	23.7	20.7	34.9	23.7	23.5	28.0	24.0	21.5	16.7	3.8	8.8	5.3	3.8	2.1	4.9
年代	20代	(64)	38.4	34.2	20.1	24.2	43.0	36.5	33.7	28.6	28.9	32.3	24.9	10.4	5.7	6.2	7.4	6.6	3.8
	30代	(60)	40.7	45.0	35.0	36.1	28.3	20.2	22.8	27.9	24.0	10.5	22.7	10.5	12.2	14.5	4.9	-	6.3
	40代	(77)	53.8	27.5	32.3	32.2	15.0	28.0	20.8	17.0	4.8	10.7	5.5	9.5	5.9	2.5	2.5	1.4	3.4
	50代	(70)	42.7	29.4	26.5	19.9	26.3	18.8	16.3	19.7	16.3	17.6	16.8	5.6	4.8	2.8	1.4	2.1	9.2
未婚・共働き	既婚	(148)	42.2	24.4	29.5	22.6	24.6	22.6	21.8	16.1	16.9	17.0	12.3	6.5	8.7	6.4	4.6	2.6	5.2
	共働き	(100)	42.3	23.4	28.9	19.8	23.6	18.3	17.5	18.1	15.1	12.0	11.4	5.7	6.4	8.8	6.7	3.5	5.6
	共働きでない	(48)	42.0	26.5	30.8	28.6	26.7	31.6	30.7	12.1	20.7	27.4	14.1	8.2	13.5	1.4	-	0.7	4.4
	未婚	(124)	47.1	44.2	27.3	34.4	30.9	29.9	24.8	30.9	18.7	18.3	22.2	11.8	4.8	5.8	3.1	2.4	6.1
全体 (単一回答)		(272)	24.1	11.8	8.3	8.5	9.0	6.5	4.1	7.0	3.5	1.8	2.7	1.6	4.0	0.4	1.6	0.5	4.7

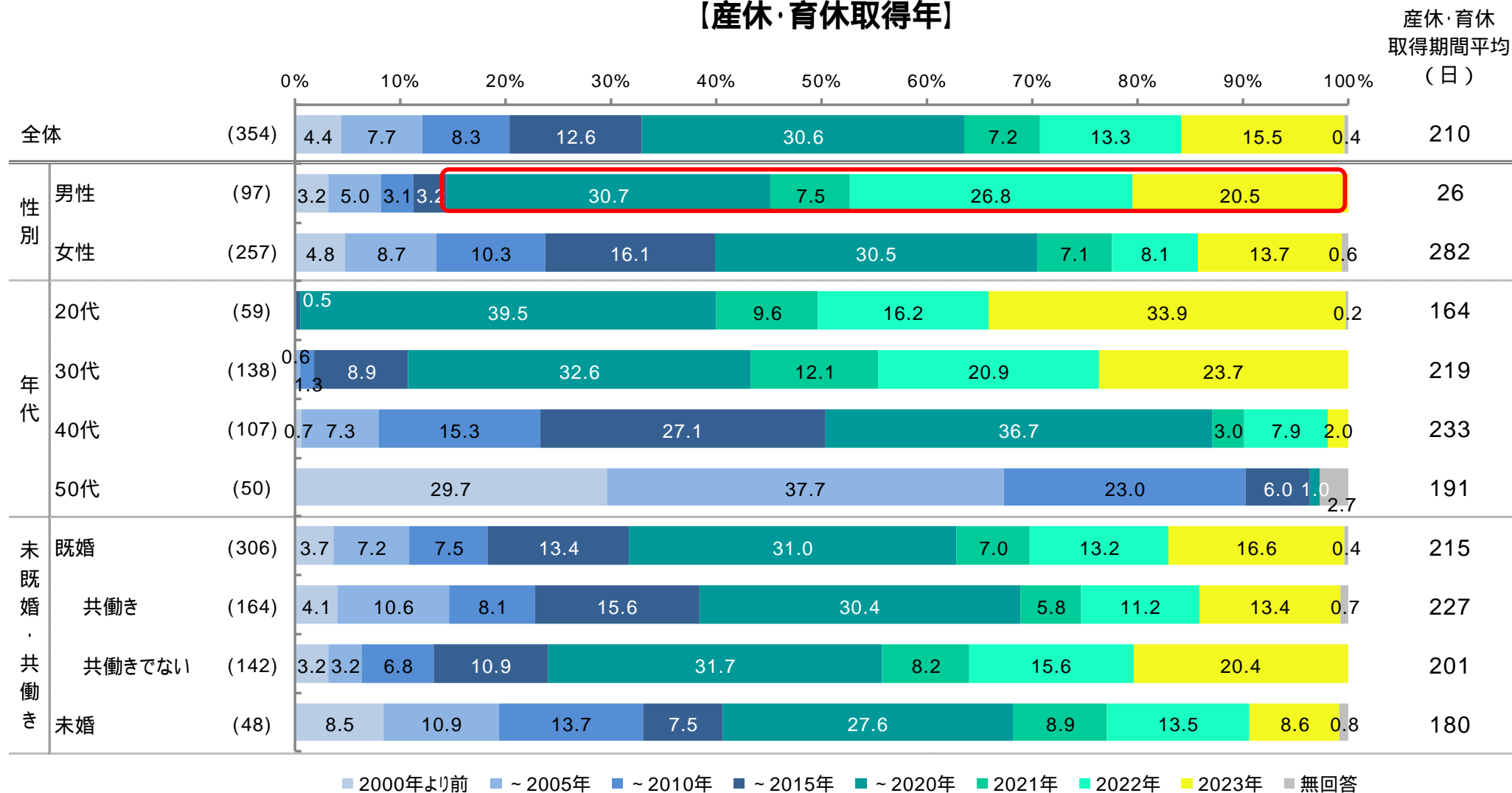
: 全体より+10pt以上 : 全体より 10pt以下 (%)

# 1-20 . 産休・育休取得年/期間 ( Q15 )

- 産休・育休取得年は「2020年以降」の取得が半数を超え、特に男性では9割近くが「2020年以降」の取得であり、男性の育休取得が進んできていることが窺える。
- 取得期間の平均は、男性で26日、女性で282日となっている。

Q.直近取得した育休について、いつ、どのくらいの期間（女性は産休育休合わせた期間）取得したかお答えください

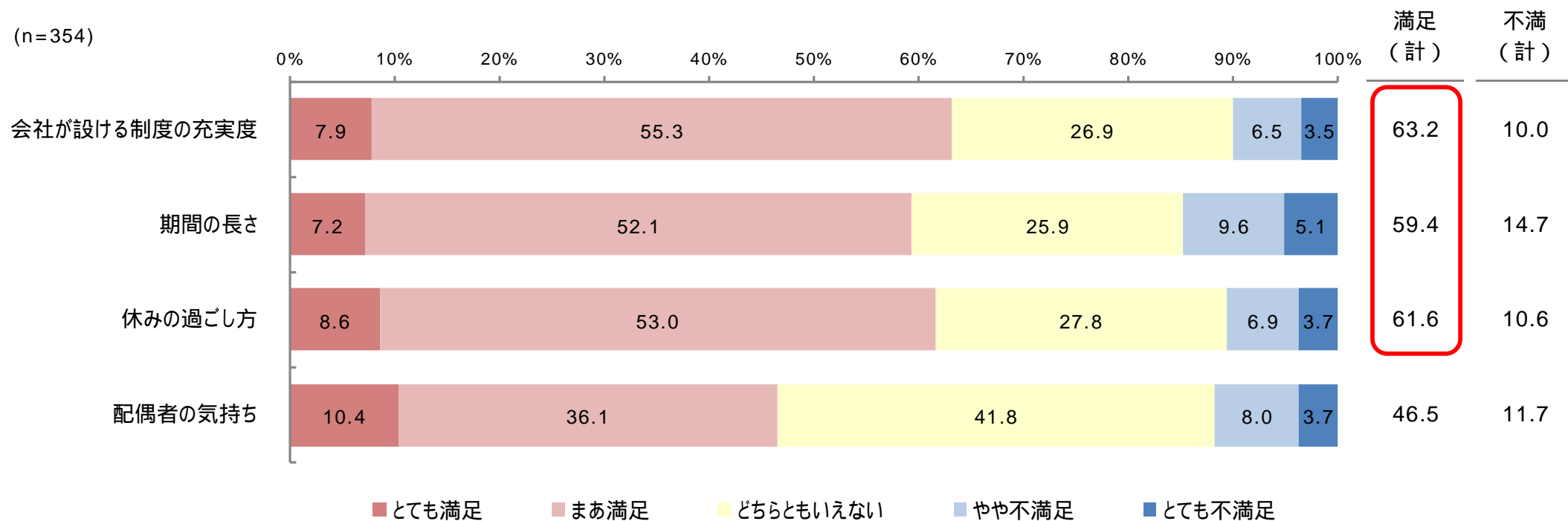
## 【産休・育休取得年】



## 1-21 . 産休・育休中の満足度（Q16）

- 産休・育休中の満足度としては、『会社が設ける制度の充実度』『期間の長さ』『休みの過ごし方』がそれぞれ約6割と高めている。

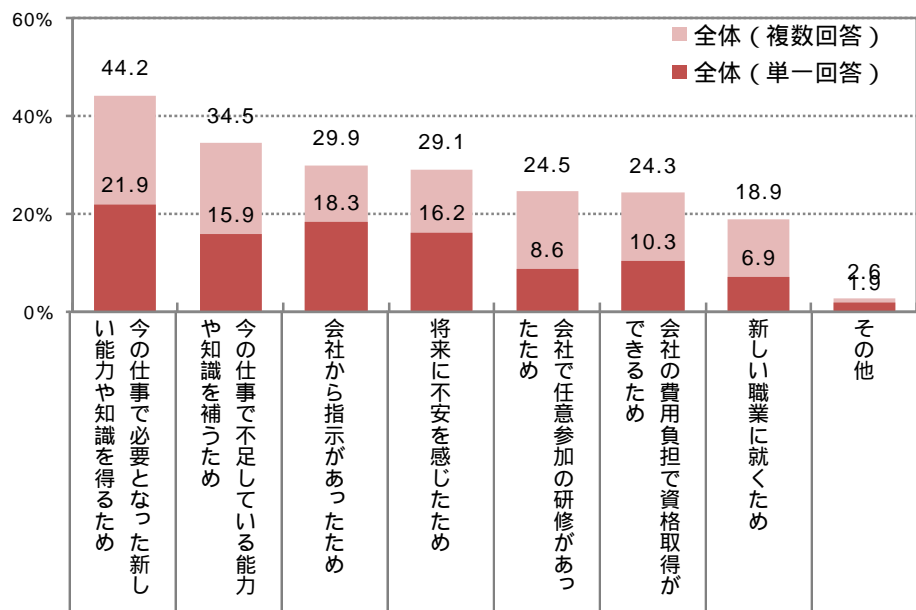
Q. 会社の育児休業制度・育児休業中（女性は産休も含む）の満足度について、それぞれお答えください。



# 1-22 . リスキリングのきっかけ (Q18)

- リスキリングのきっかけは、「今の仕事で必要となった新しい能力や知識を得るため」が44.2%で最も高く、「今の仕事で不足している能力や知識を補うため」「会社から指示があったため」が続く。

Q.リスキリングを行ったきっかけは何でしたか。



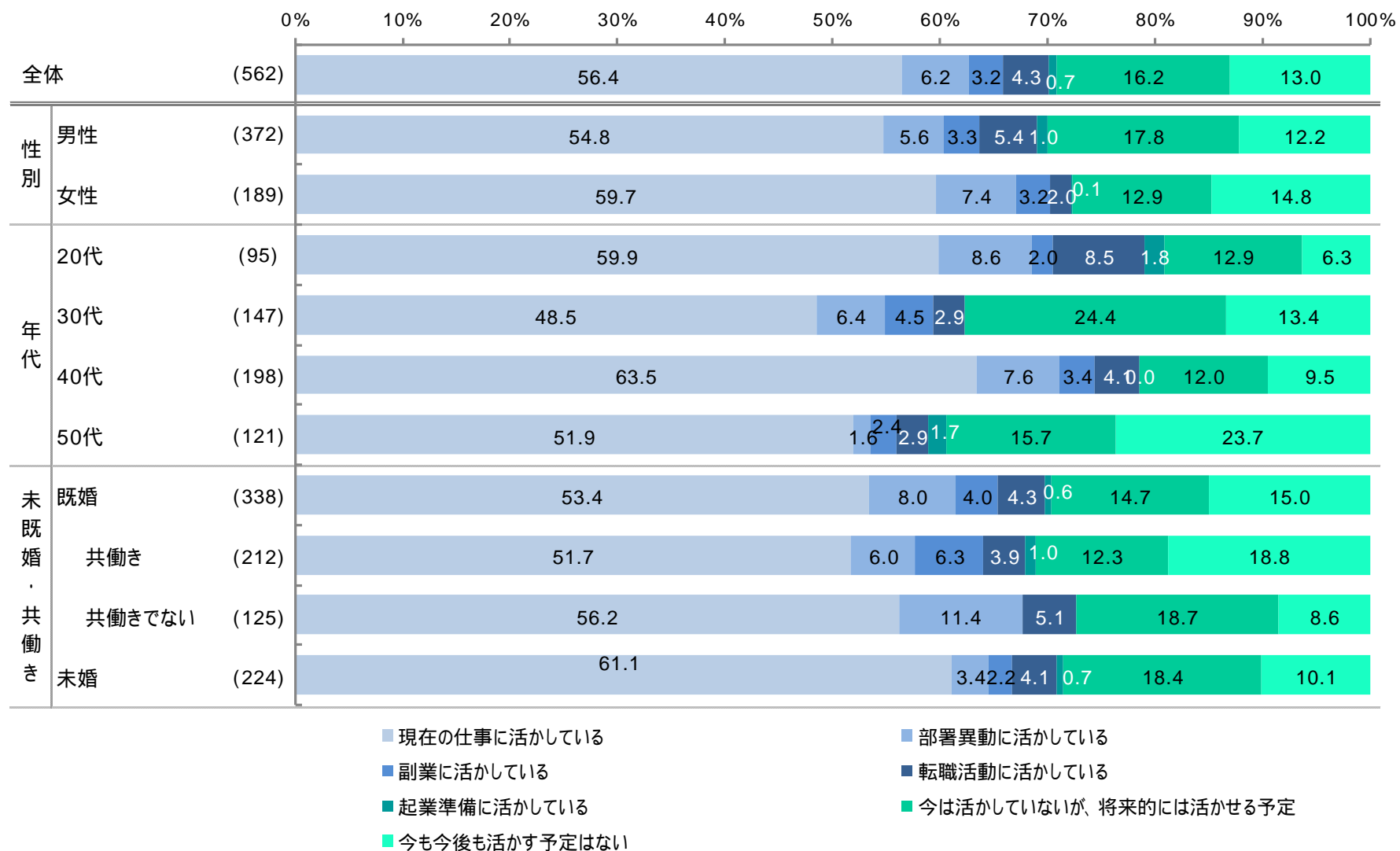
全体 (複数回答) (562)		44.2	34.5	29.9	29.1	24.5	24.3	18.9	2.6
性別	男性 (372)	44.7	35.5	30.1	31.2	23.9	25.6	17.9	2.2
	女性 (189)	43.2	32.4	29.6	25.1	25.9	21.8	20.7	3.4
年代	20代 (95)	52.3	31.1	34.2	32.3	23.3	27.5	27.3	1.7
	30代 (147)	39.4	37.2	30.4	29.6	20.3	24.6	26.3	2.8
	40代 (198)	45.7	39.1	22.9	30.6	32.2	27.5	16.1	3.7
	50代 (121)	41.2	26.2	37.4	23.6	18.2	16.2	7.7	1.4
未婚・共働き	既婚 (338)	39.6	32.0	31.9	28.0	22.2	24.3	18.0	1.5
	共働き (212)	38.1	31.6	30.3	29.8	21.9	25.8	14.2	0.5
	共働きでない (125)	42.1	32.6	34.5	24.9	22.7	21.6	24.5	3.1
	未婚 (224)	51.2	38.2	26.9	30.8	28.1	24.4	20.1	4.4
全体 (単一回答) (562)		21.9	15.9	18.3	16.2	8.6	10.3	6.9	1.9

: 全体より+10pt以上    : 全体より 10pt以下    (%)

# 1-23 . リスキングで得たスキルの活用状況（Q20）

- リスキングで得たスキルの活用状況としては、「現在の仕事に活かしている」が56.4%と半数を超えた。

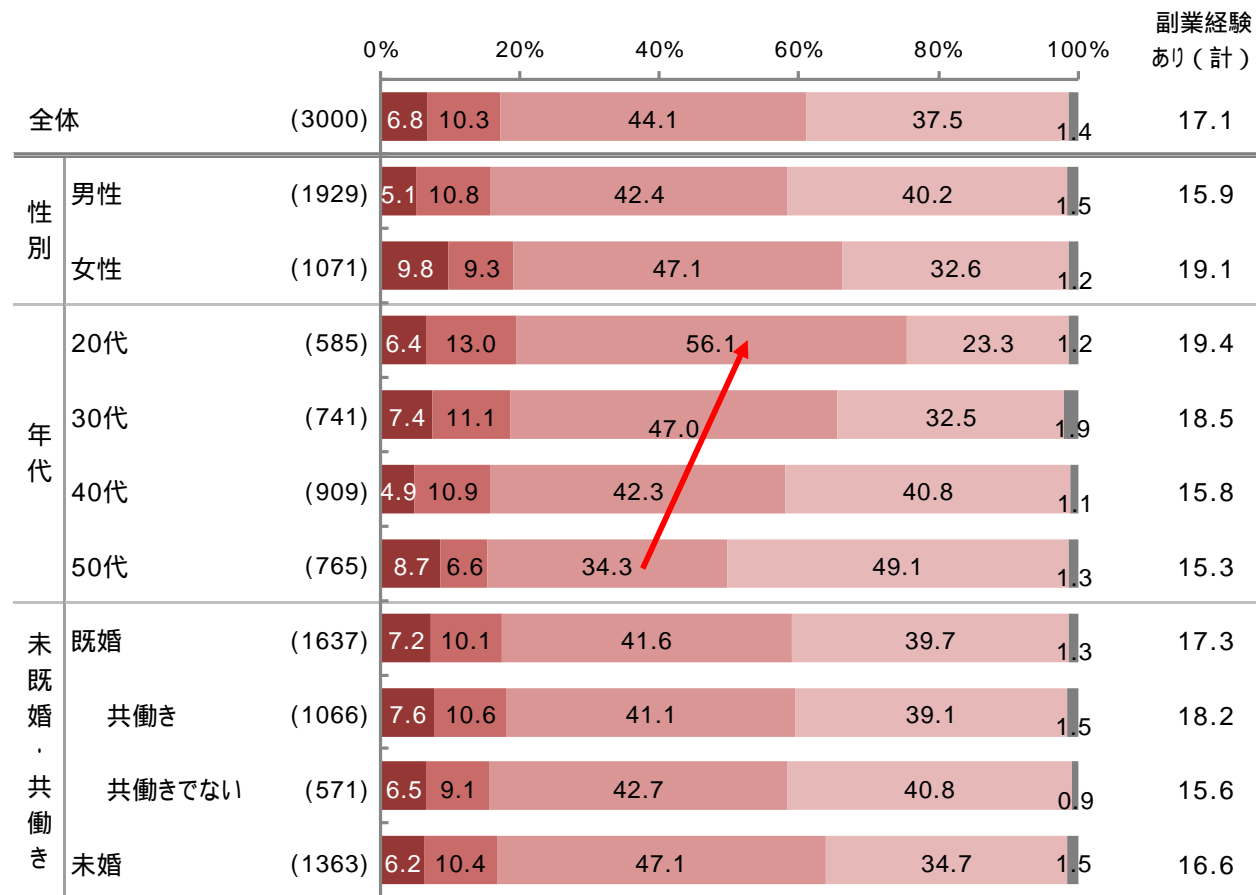
Q. リスキングで得たスキルを活かしていますか。



## 1-24 . 副業経験 (Q2)

- 副業の経験があるかについては、「副業経験あり(計)」は17.1%に留まるものの、「今後やりたいと考えている」は44.1%と、副業への関心は高い。年代別にみると、若年層ほど「今後やりたいと考えている」が高くなる傾向にある。

Q.あなたは副業をしたことがありますか。

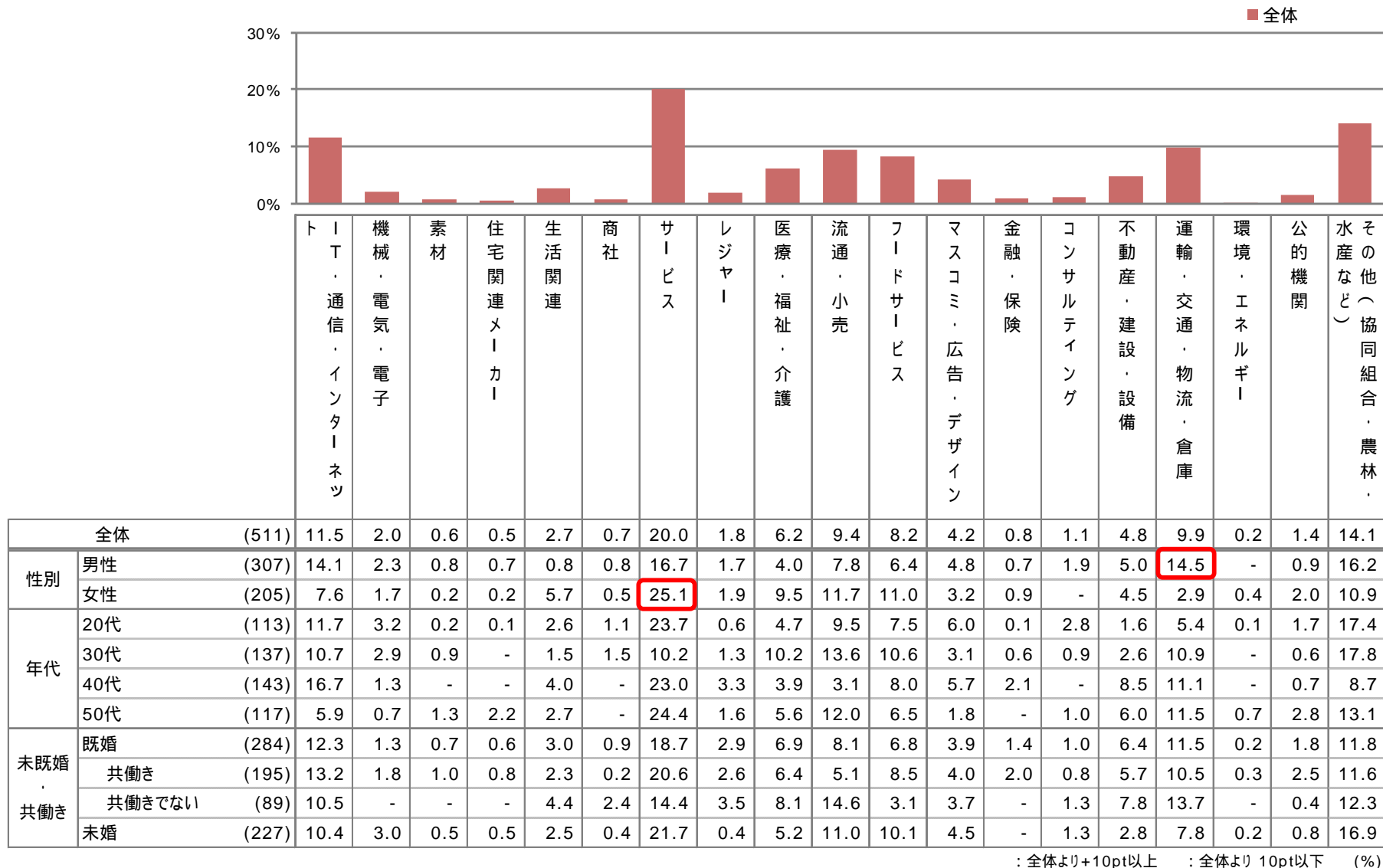


- 過去に副業をしていたが、現在はやっていない
- 現在副業をしている
- 今後やりたいと考えている
- 今後やる予定はない
- 答えたくない

# 1-25 . 副業の業種（Q3）

- 副業の業種は「サービス」が20.0%で最も高い。次いで「IT・通信・インターネット」「運輸・交通・物流・倉庫」「流通・小売」が上位に挙がる。
- 性別にみると「サービス」は特に女性で高く、「運輸・交通・物流・倉庫」は特に男性で高い傾向にある。

Q. 副業をしたことがある人は、直近行った副業の業種をお選びください。



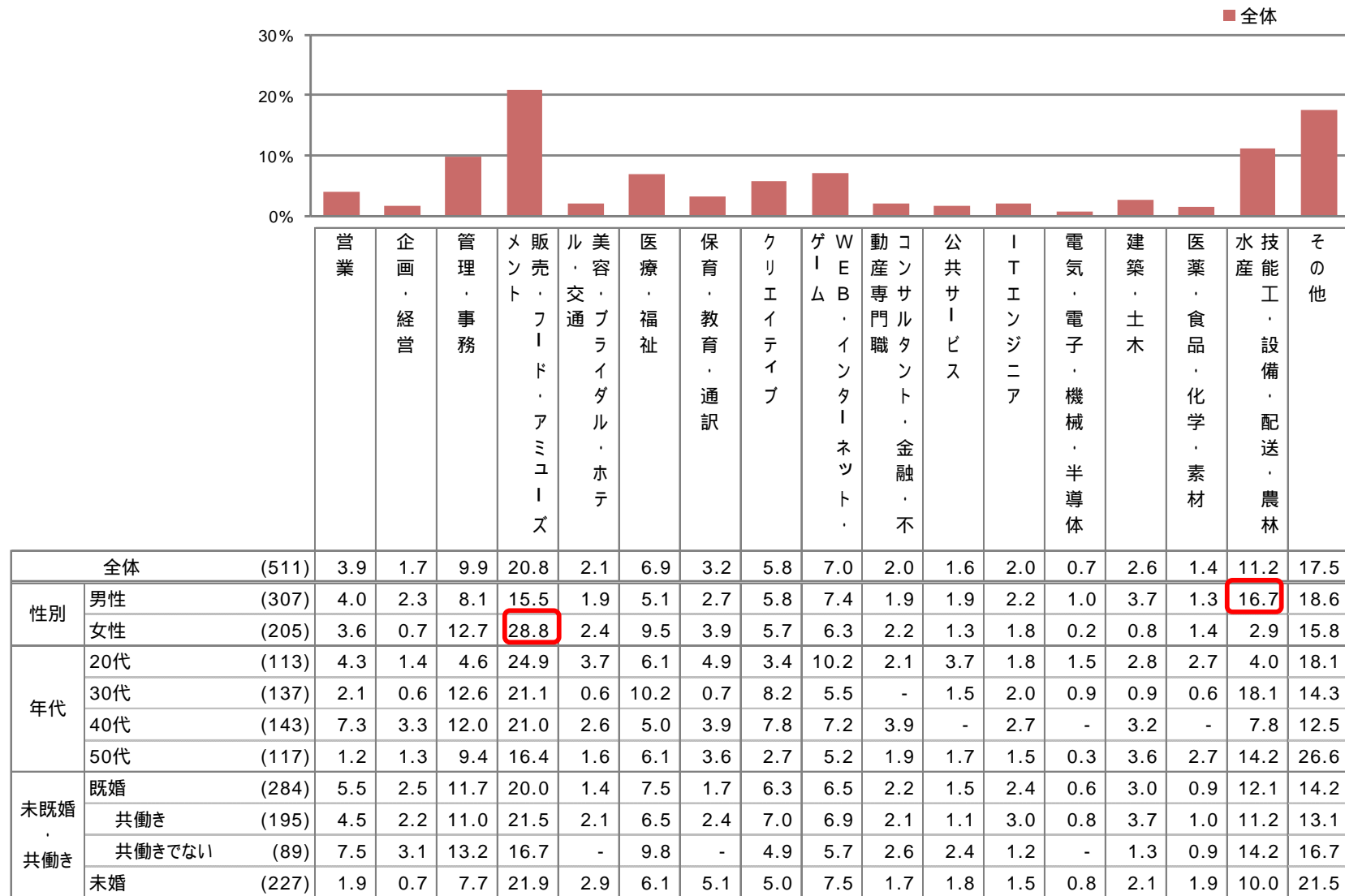
：全体より+10pt以上      ：全体より 10pt以下      (%)



# 1-26 . 副業の職種（Q4）

- 副業の職種は「販売・フード・アミューズメント」が20.8%で最も高い。次いで「技能工・設備・配送・農林水産」が挙がる。
- 性別にみると「販売・フード・アミューズメント」は女性で高く、「技能工・設備・配送・農林水産」は男性で高い傾向にある。

Q. 副業をしたことがある人は、直近行った副業の職種をお選びください。



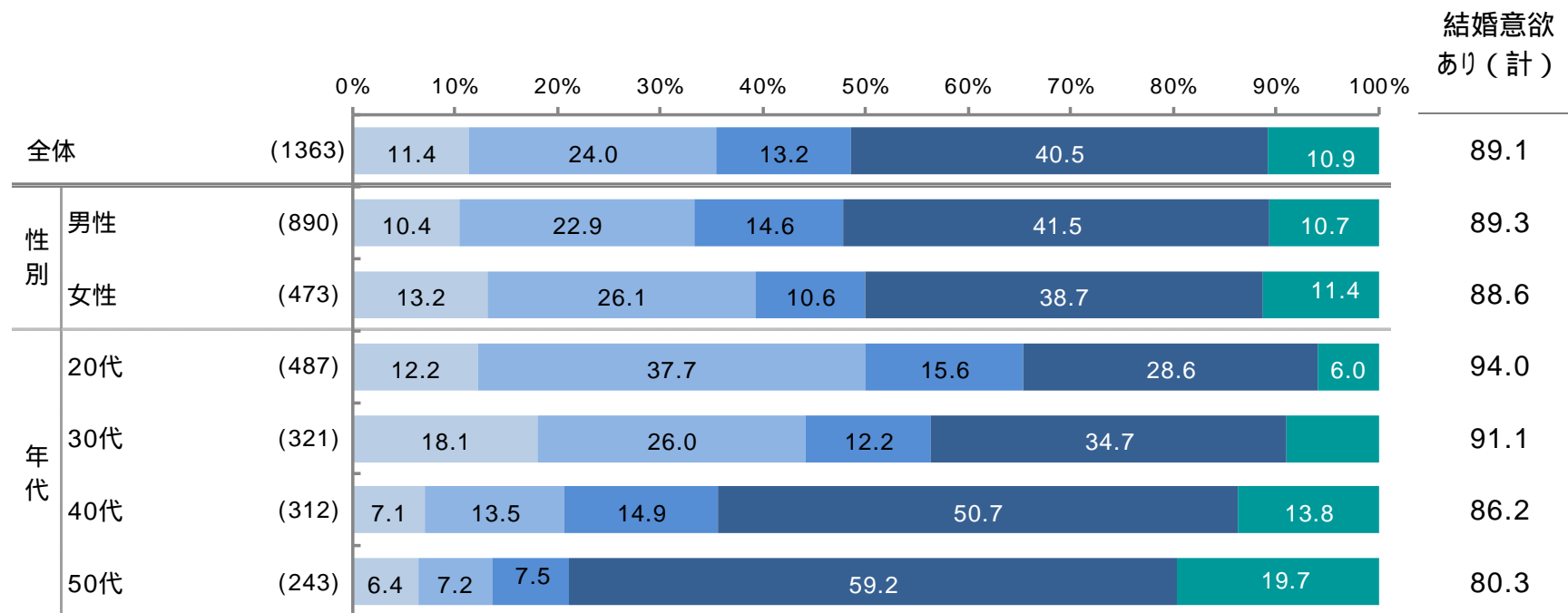
：全体より+10pt以上   ：全体より 10pt以下   (%)

## 2．私生活の実態と意識

## 2-1 . 将来の結婚意向（Q27）

- 将来の結婚意向としては、「いい人がいれば結婚したいが、いなければ結婚しなくてもよい」が40.5%と最も高い。積極的ではないが結婚への意欲がある方も含めると、「結婚意欲あり（計）」は89.1%となる。

Q. あなたは将来結婚したいですか。

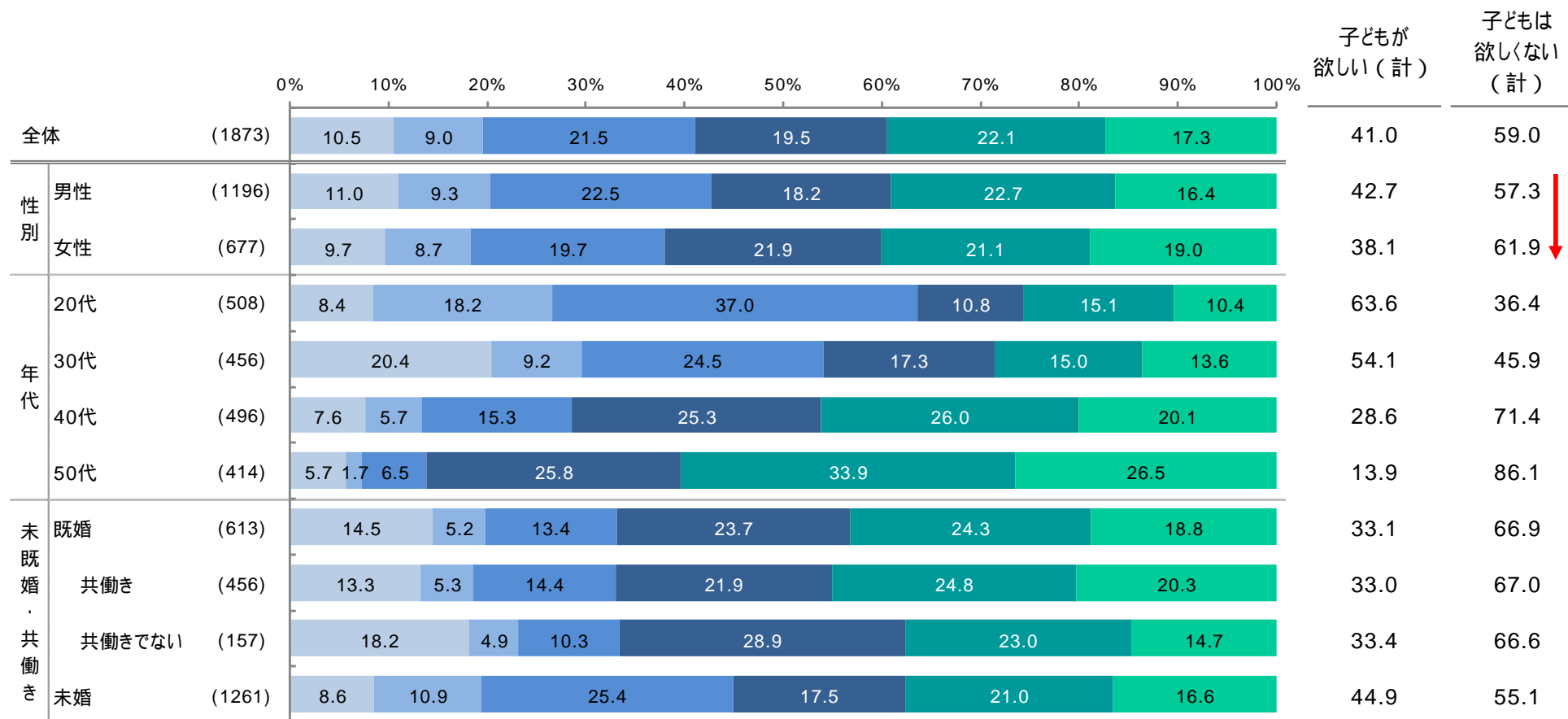


- 今すぐにも結婚したい
- 今すぐではないが、ゆくゆくは結婚したい
- いい人がいれば結婚したいと思っており、いい人を探し続けている
- いい人がいれば結婚したいが、いなければ結婚しなくてもよい
- どんなことがあっても結婚はしたくない

## 2-2．将来子どもがほしいか（Q29）

- 将来子どもがほしいかについては、「子どもは欲しくない（計）」が59.0%と、「子どもが欲しい（計）」41.0%を上回る。性別では、男性よりも女性で「子どもが欲しくない（計）」が高くなっている。

Q.あなたは将来子供が欲しいですか。



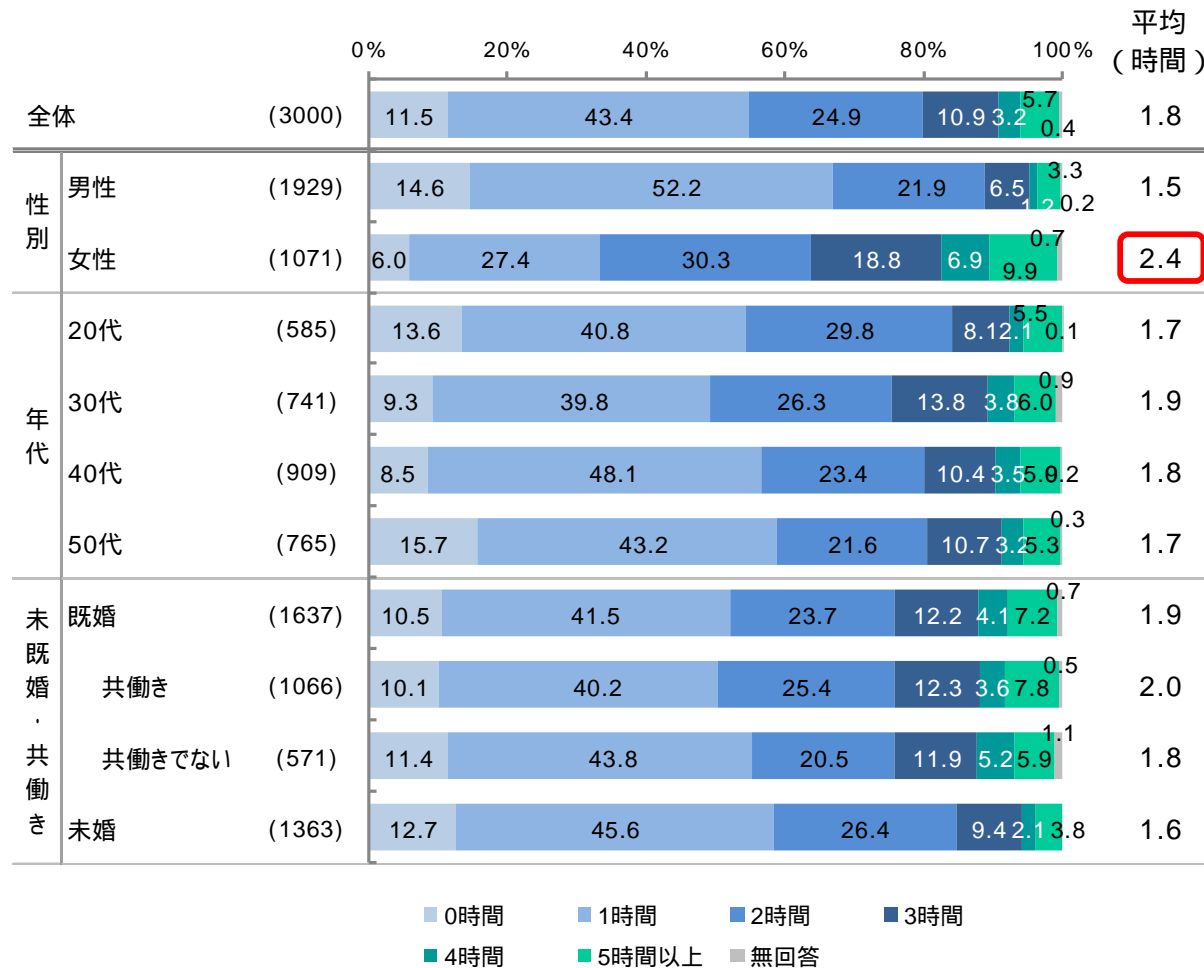
- 今すぐにも子供が欲しいと思っている
- 仕事などまわりの環境が落ち着いたら子供が欲しいと思っている
- 漠然といつか子供が欲しいと思っている
- 可能であれば子供が欲しかったが、所得など環境的な理由や身体的な理由で子供は産めないと考えている
- どちらかという子供は欲しくないと考えている
- どんなことがあっても子供は欲しくないと考えている

## 2-3 . 家事時間・睡眠時間（Q7）

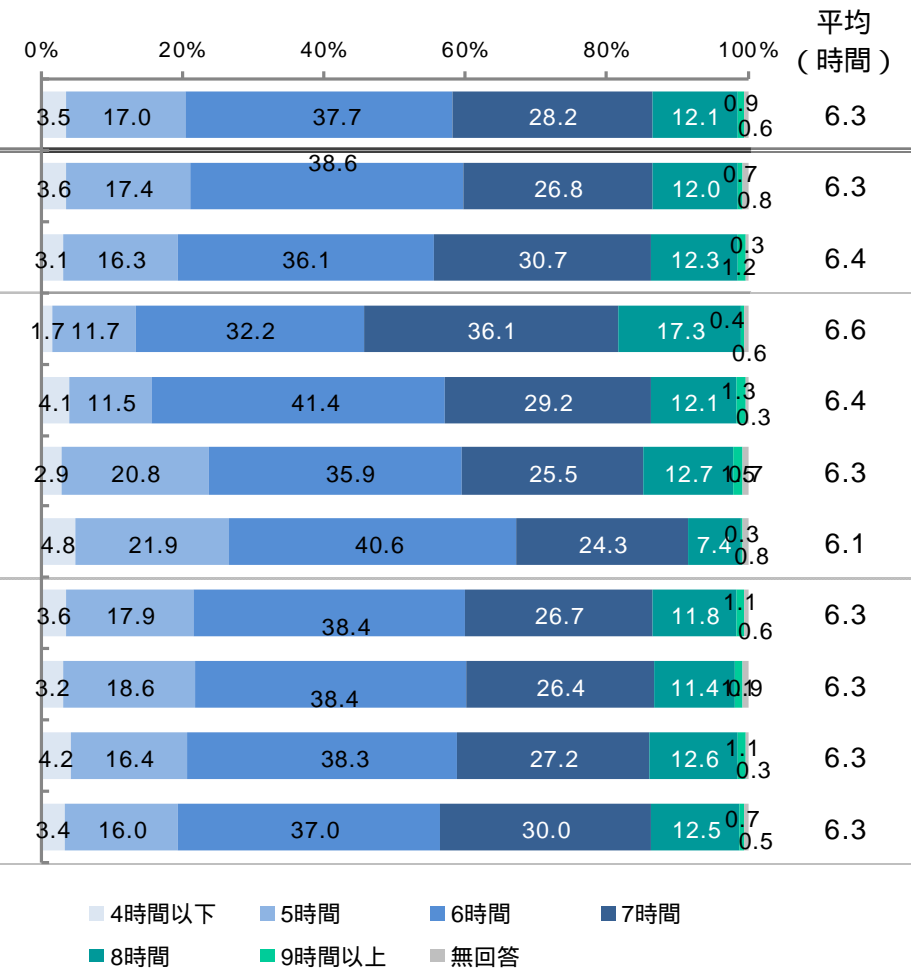
- 1日あたりの家事時間平均は、1.8時間。性別では女性で2.4時間と、男性の1.5時間を大きく上回る。
- 1日あたりの睡眠時間平均は、6.3時間。

Q. 1日あたりの家事時間、1日あたりの睡眠時間をお答えください。

【1日あたりの家事時間】



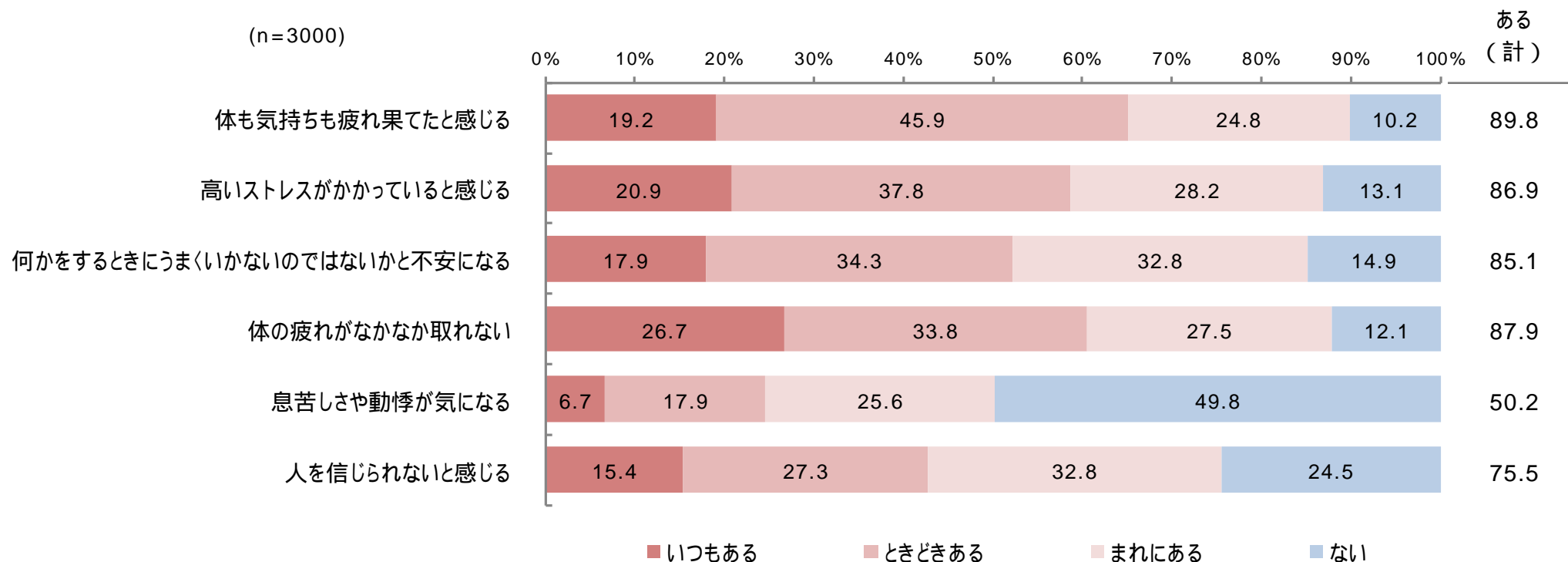
【1日あたりの睡眠時間】



## 2-4．自身のストレス度合い（Q31）

- 自身のストレス度合いとしては、「いつもある」が『体の疲れがなかなか取れない』では26.7%、『高いストレスがかかっていると感じる』では20.9%となる。また、いずれの項目も「ある（計）」は半数を超え、ストレスの自覚がある方がほとんどとなる。

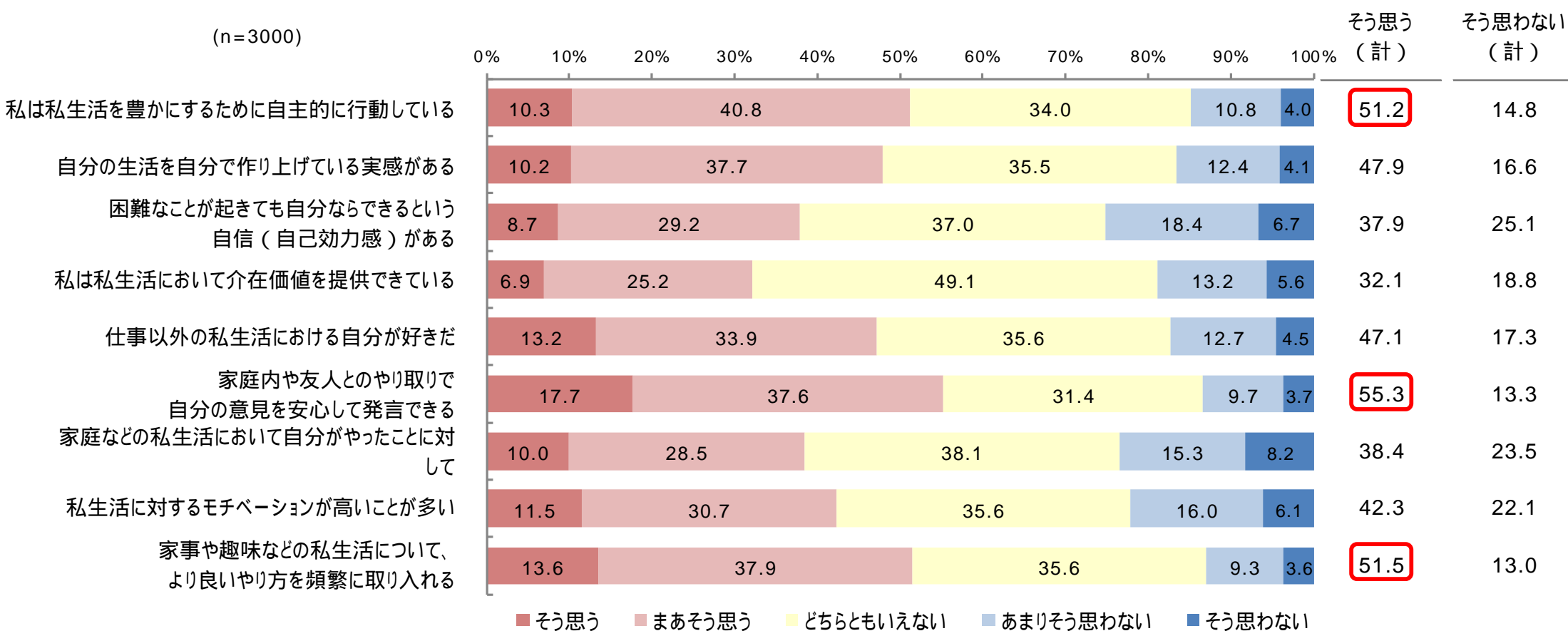
Q.あなたのストレス度合いについてお答えください



## 2-5．私生活の状況（Q32）

- 私生活の状況としては、『私は私生活を豊かにするために自主的に行動している』『家族内や友人とのやり取りで自分の意見を安心して発言できる』『家事や趣味などの私生活について、より良いやり方を頻繁に取り入れる』がそれぞれ半数を超える。

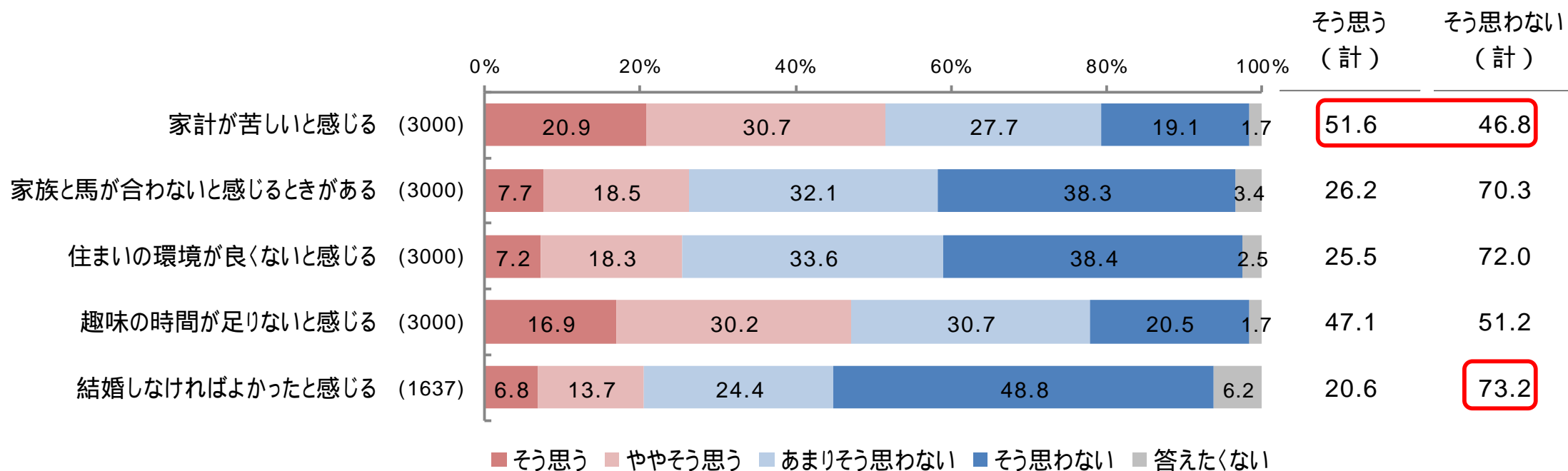
Q. あなたの仕事以外の私生活についてお答えください。



## 2-6．私生活での本音（Q33）

- 私生活での本音としては、『家計が苦しいと感じる』は「そう思う（計）」と「そう思わない（計）」がおよそ半数ずつに分かれ、二極化の傾向にある。『結婚しなければよかったと感じる』は「そう思わない（計）」が73.2%となり、結婚後の満足度は高い。

Q.あなたの私生活での本音について、可能な範囲でお答えください。





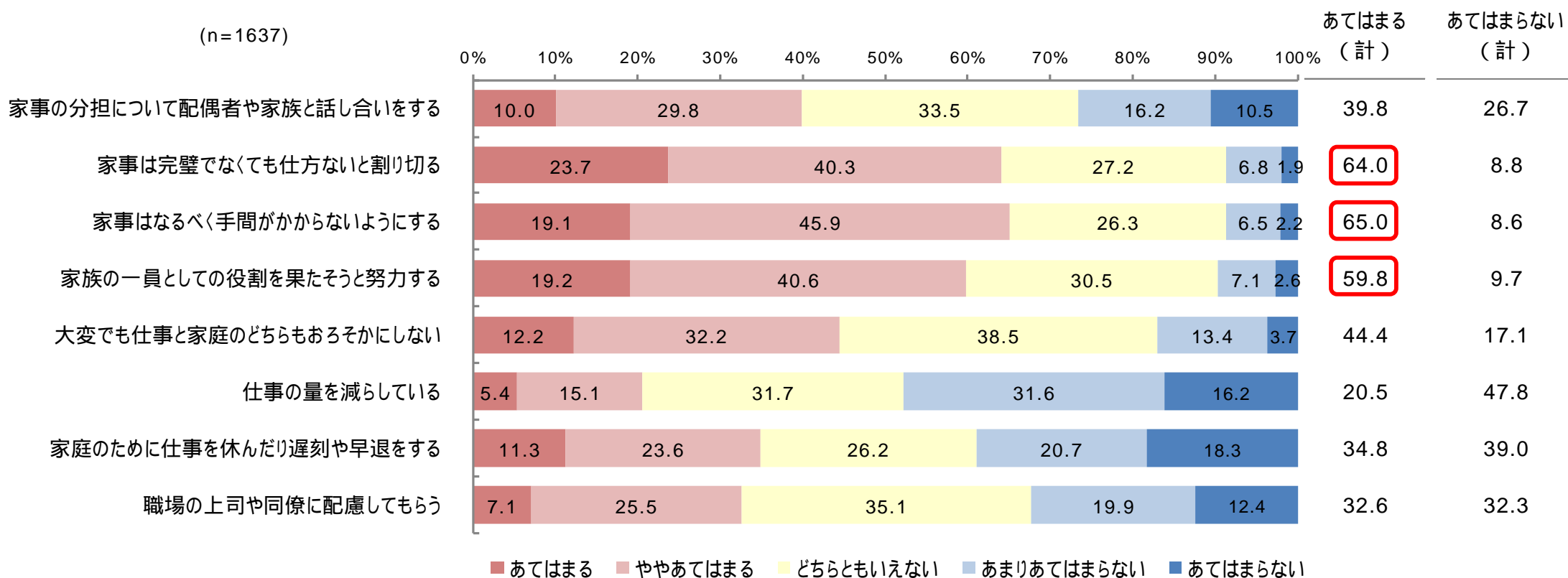
### 3 . 仕事と私生活のバランス

## 3-1．仕事と家庭のバランスのためにしていること（Q34）

- 仕事と家庭のバランスのためにしていることは、『家事は完璧でなくても仕方ないと割り切る』『家事はなるべく手間がかからないようにする』『家族の一員として役割を果たそうとする』で「あてはまる（計）」がそれぞれ6割前後と高い。

Q.あなたが仕事と家庭のバランスをとるために行っていることについてお答えください

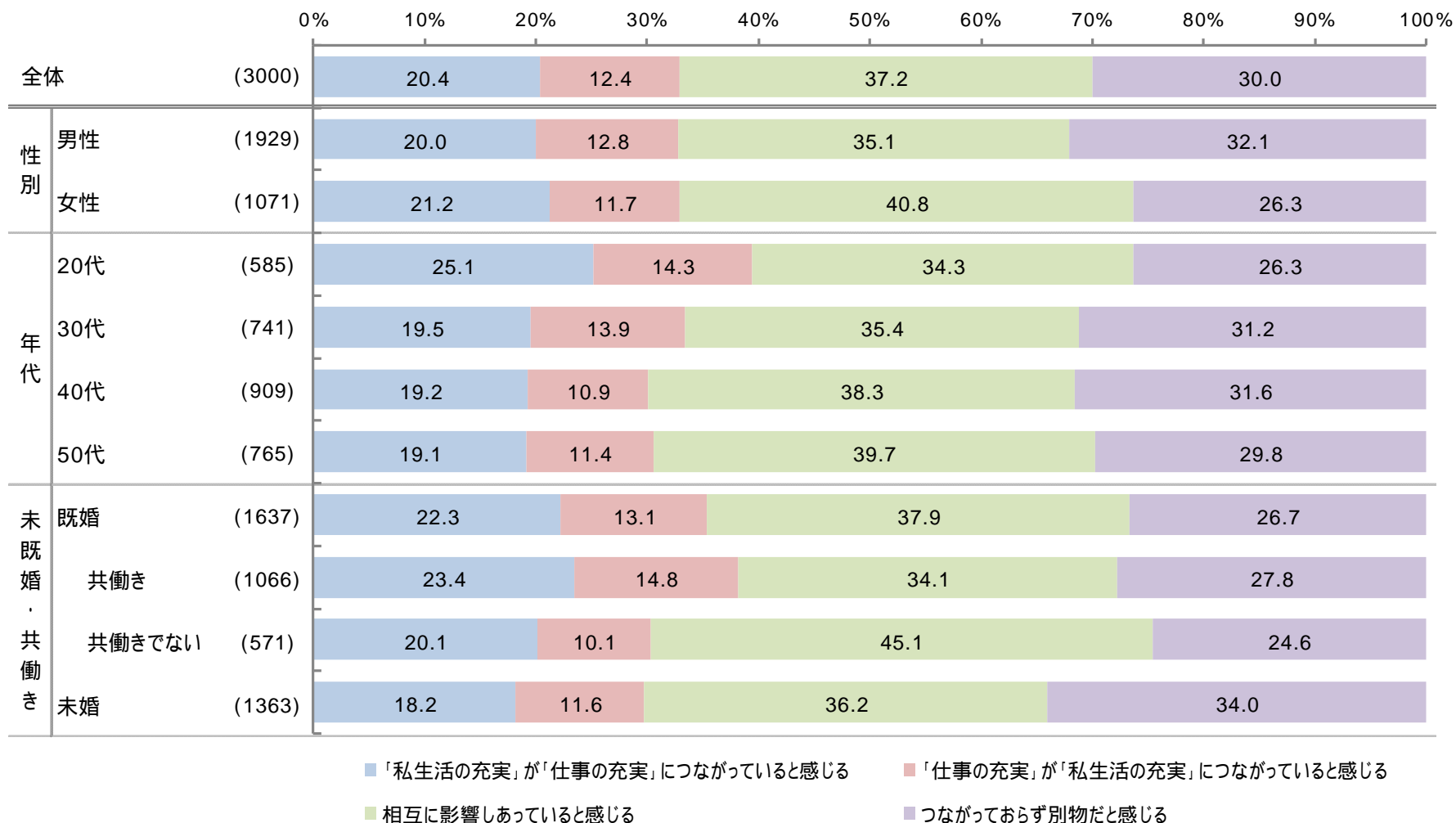
(n=1637)



## 3-2．私生活の充実と仕事の充実の関係（Q37）

- 私生活の充実と仕事の充実の関係としては、「私生活の充実と仕事の充実がつながっている（計）」は70.0%となる。年代別では、20代で「私生活の充実」が「仕事の充実」につながっていると感じる」が他の年代より高い。

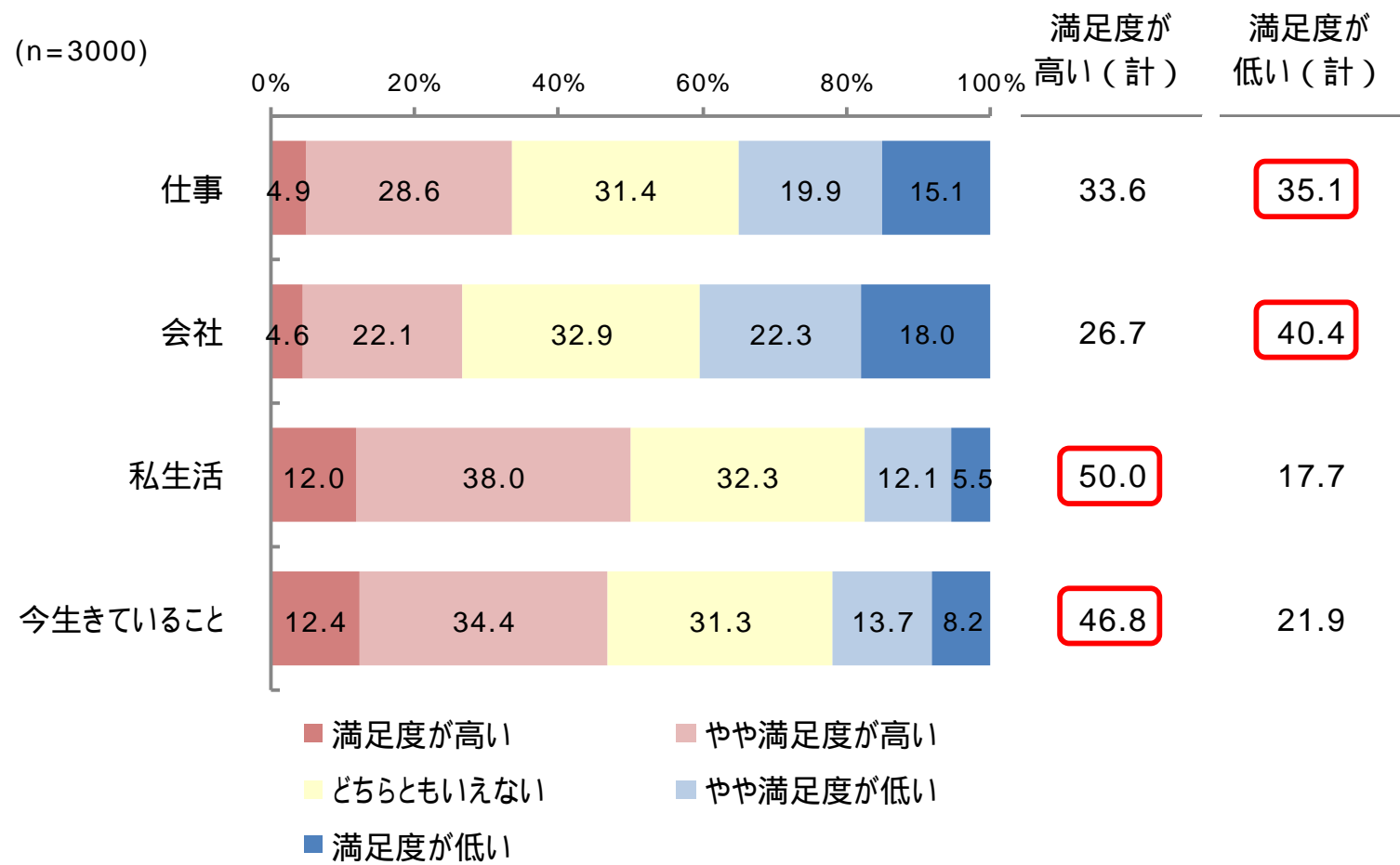
Q. 「私生活の充実」と「仕事の充実」の関係性について、あなたの実感にもっとも近いものをお選びください。



# 3-3 . 生活上の満足度 ( Q39 )

● 生活上の満足度としては「満足（計）」は『私生活』『今生きていること』でも約半数に留まる。また、『仕事』『会社』の満足度は、「満足度が低い（計）」が「満足度が高い（計）」よりも高く、不満が目立つ。

Q.あなたの満足度についてそれぞれお答えください。



## 3-4．自分への理解度/理解度を高めるためにしていることがあるか（Q35・36）

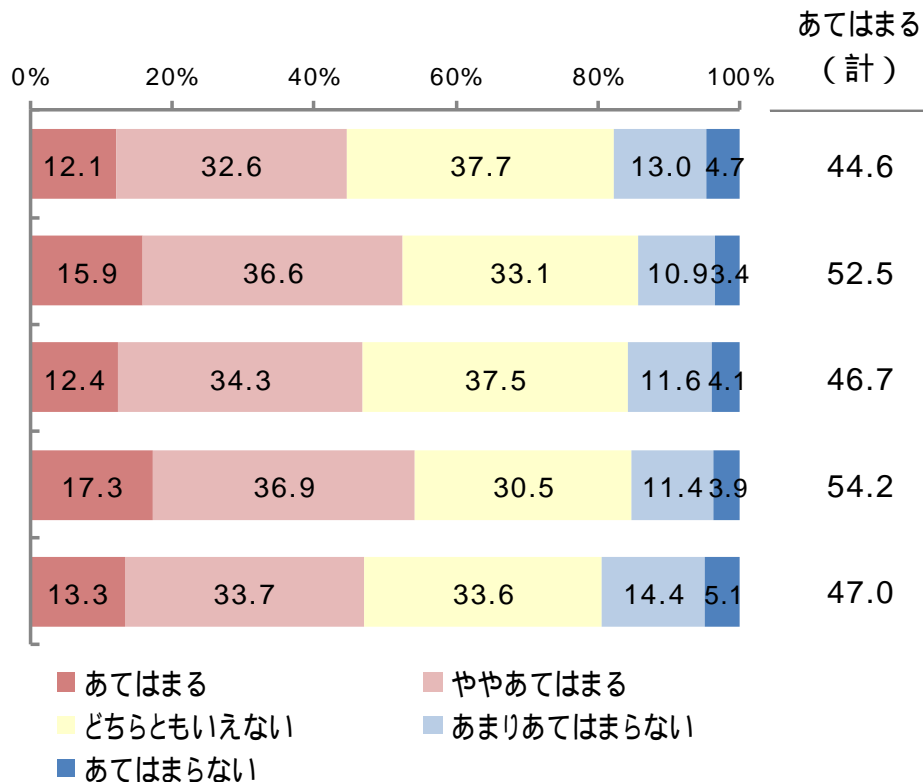
- 自分自身への理解度は、『自分自身への理解度は高いと思う』で「あてはまる（計）」が44.6%になったほか、その他の項目についてもいずれも「あてはまる（計）」がおよそ半数となっている。
- 自分自身への理解度を高めるためにに行っていることがあるかについては、「ある」は8.0%に留まる。

Q.自分自身への理解度についてお答えください。

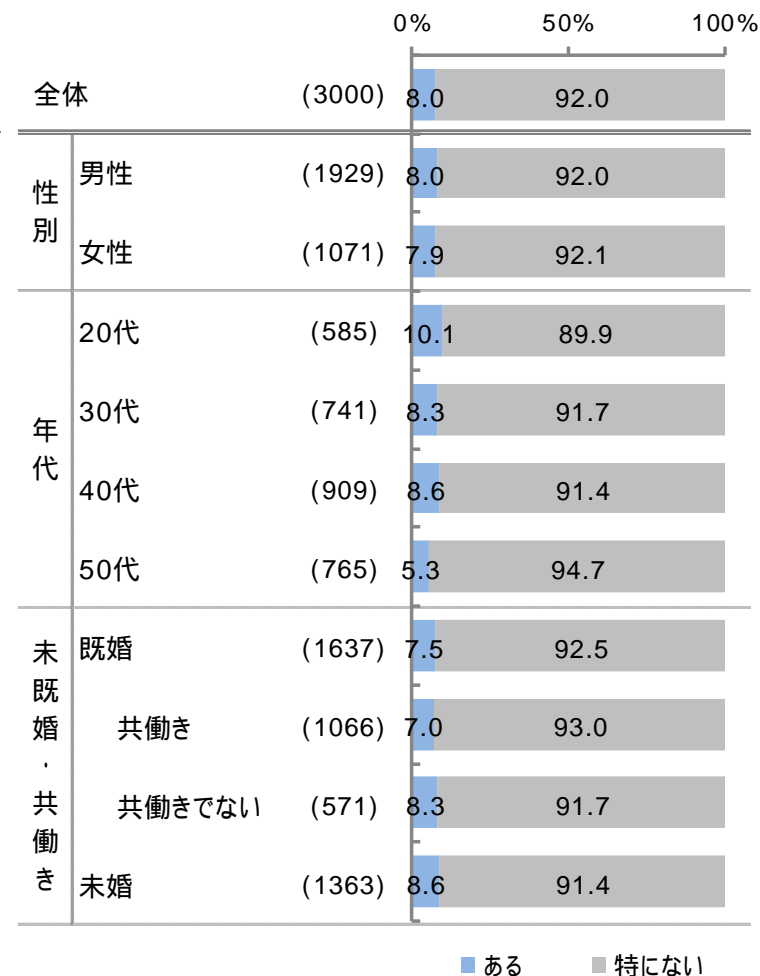
Q.自分自身への理解度を高めるために、何か意識的にやっていることはありますか。

【自分への理解度】

(n=3000)



【自分への理解度を高めるためにしていることがあるか】



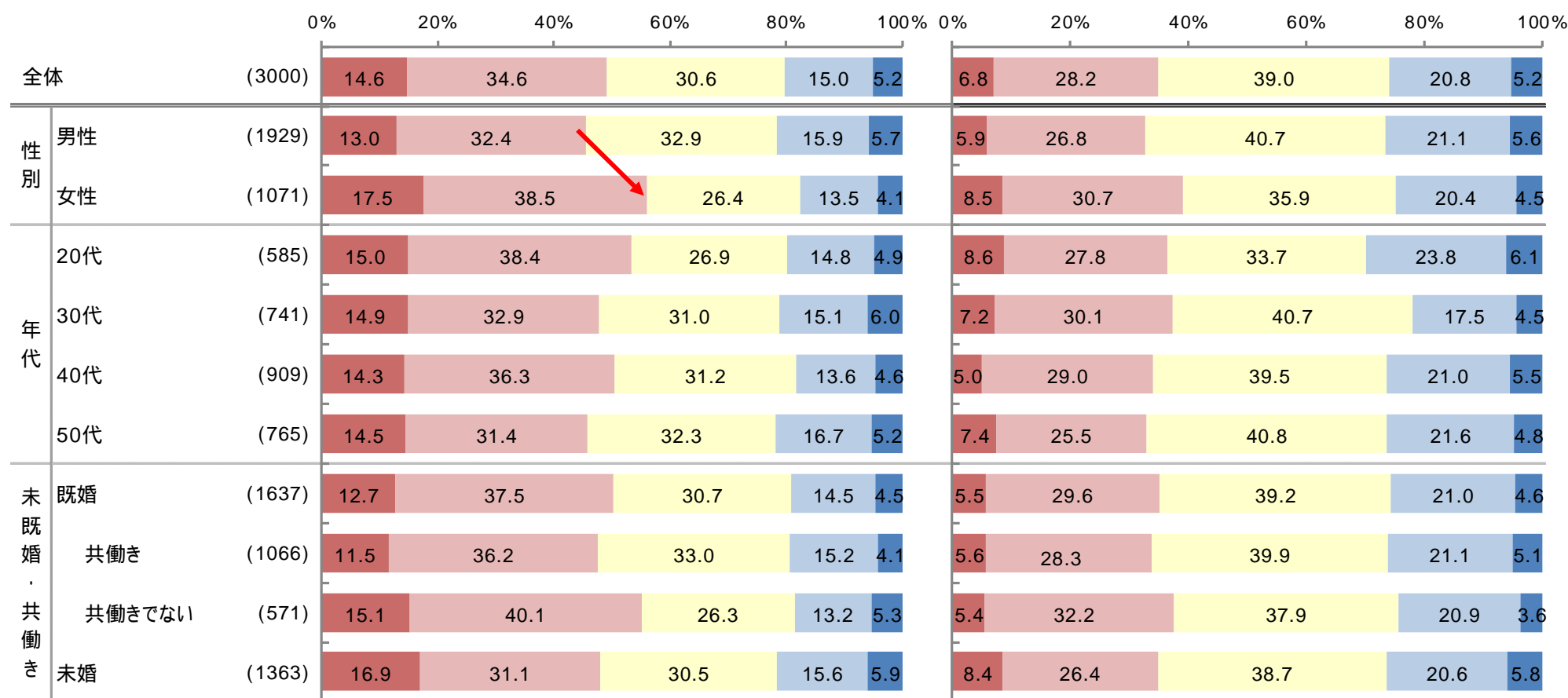
## 3-5．新しい挑戦へのハードル感（Q40）

- 新しい挑戦へのハードル感は、「感じる（計）」が【仕事に関して】は49.2%、【私生活に関して】は36.0%となっている。性別でみると、特に【仕事に関して】は女性で「感じる（計）」が男性よりも高くなっている。

Q.あなたは新しいことへの挑戦にハードルを感じますか。

【仕事に関して】

【私生活に関して】

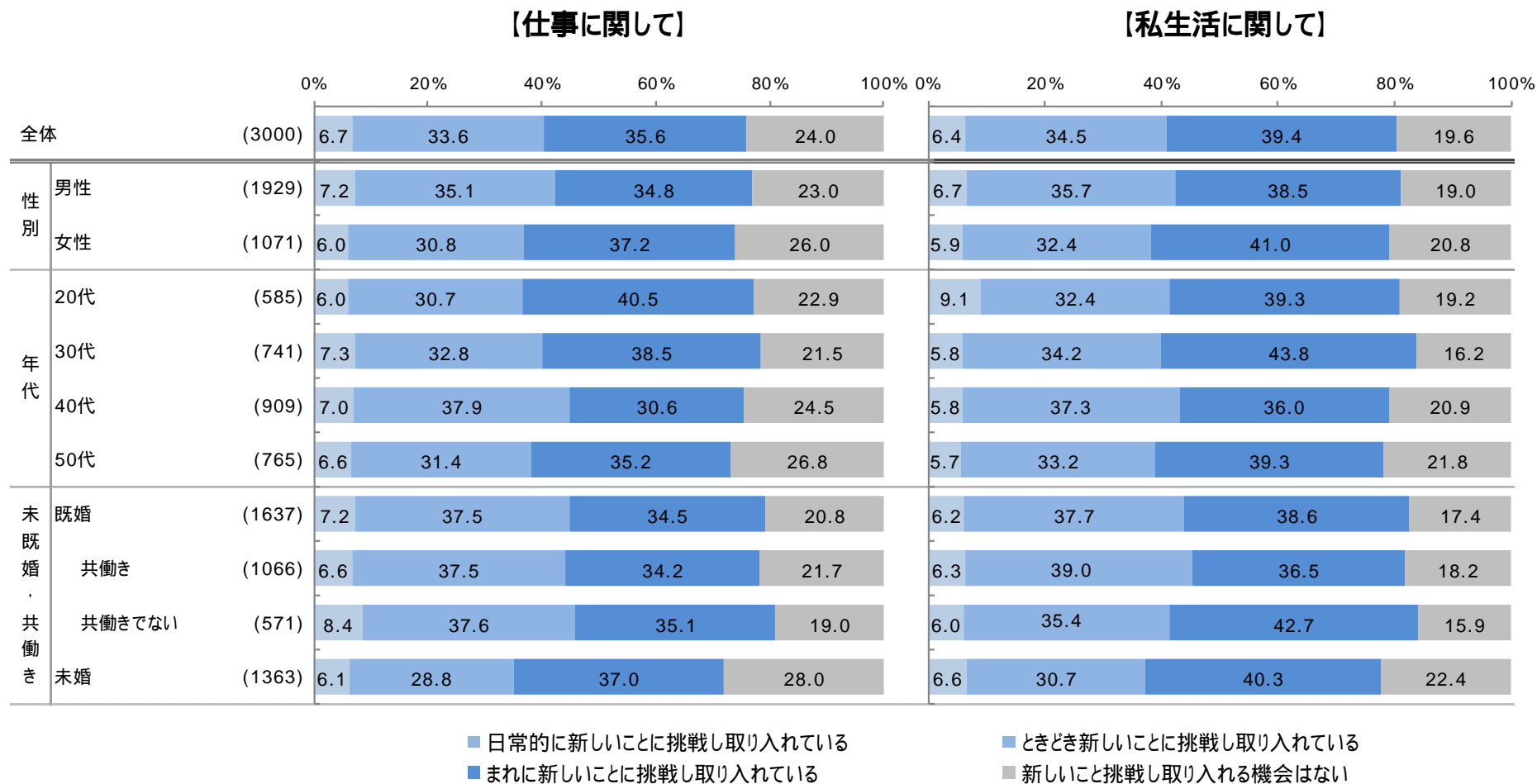


■ とても感じる
 ■ やや感じる
 ■ どちらともいえない
 ■ あまり感じない
 ■ 全く感じない

## 3-6 . 新しいことへの挑戦頻度（Q41）

- 新しいことへの挑戦頻度は、【仕事に関して】【私生活に関して】ともに「まれに新しいことに挑戦し取り入れている」が最も多い。次いで、「ときどき新しいことに挑戦し取り入れている」となる。

Q.あなたが新しいことに挑戦している頻度をお答えください。



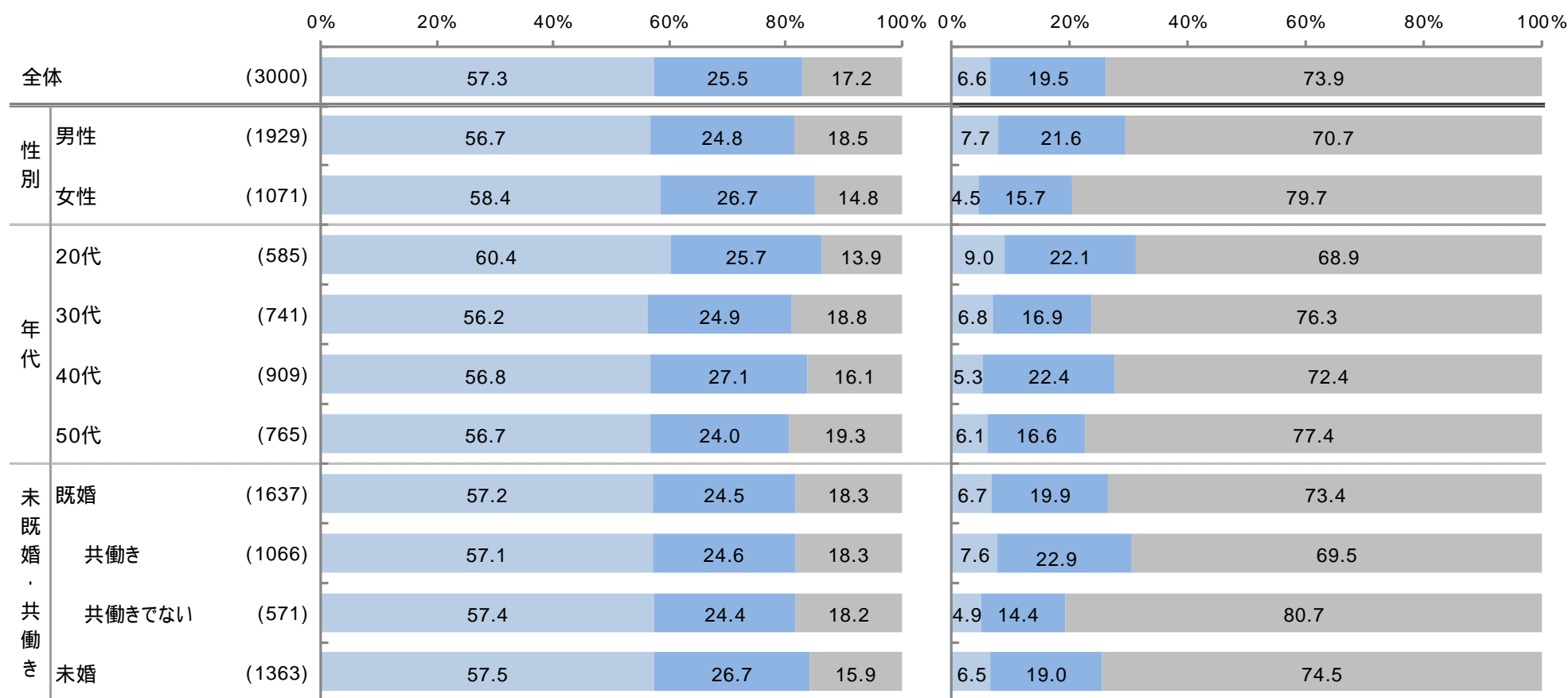
## 3-7 . WLB/WLI認知 ( Q42 )

- 【ワーク・ライフ・バランス】については「言葉も意味も知っている」が57.3%、言葉だけ知っている方も含めると認知率は82.8%となる。
- 【ワークライフ・インテグレーション】については「言葉も意味も知っている」が6.5%、言葉だけ知っている方も含めても認知率は26.0%に留まる。

Q. あなたは以下の言葉を知っていますか。

### 【ワーク・ライフ・バランス】

### 【ワークライフ・インテグレーション】



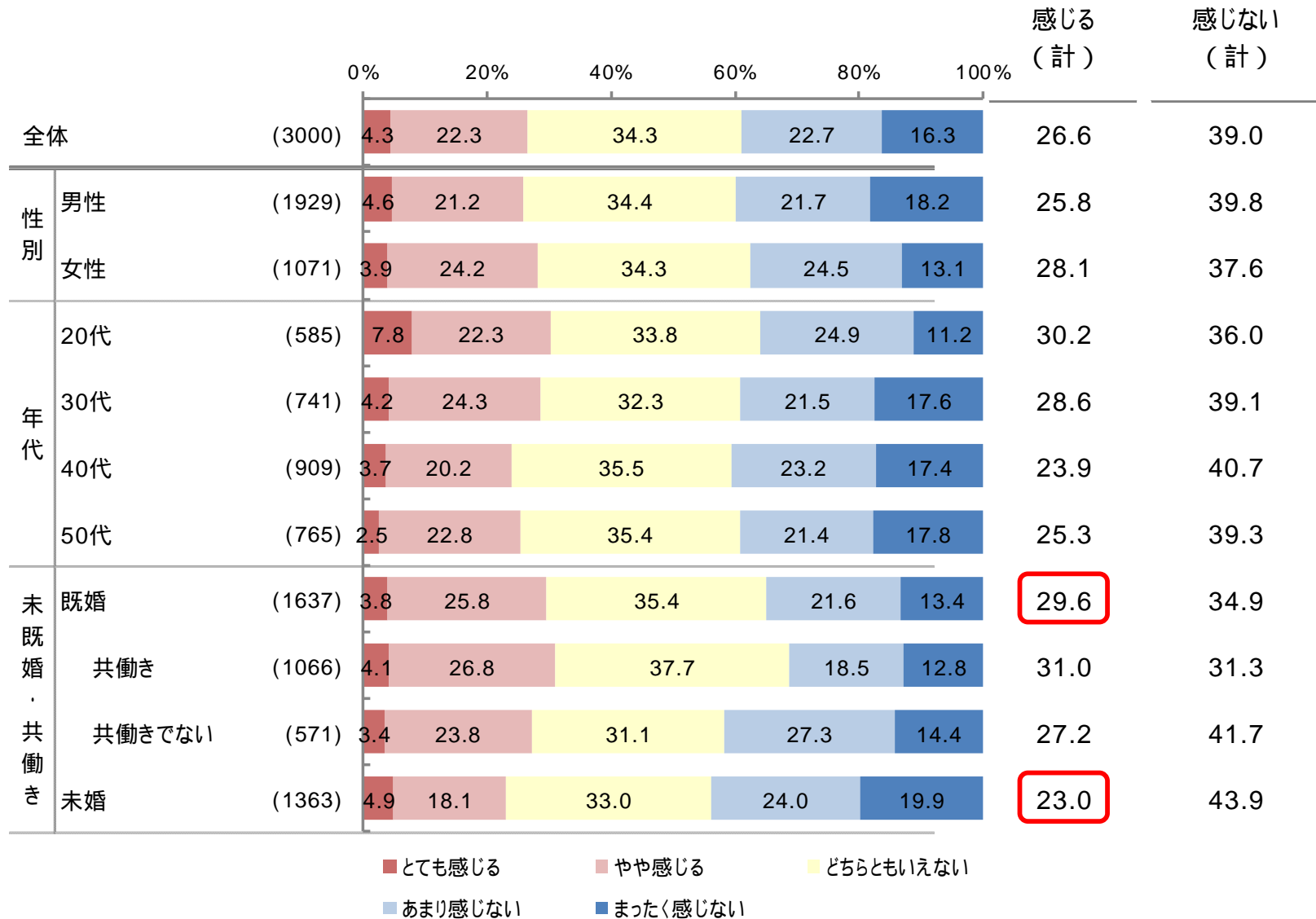
■ 言葉も意味も知っている ■ 言葉は知っているが意味は知らない ■ 言葉も意味も知らない



## 3-8 . WLIの実現度（Q43）

- ワークライフ・インテグレーションの実現は、実現を「感じる（計）」が26.6%に対し、「感じない（計）」が39.0%になる。未既婚でみると、既婚の方が未婚よりも実現を感じるが高くなっている。

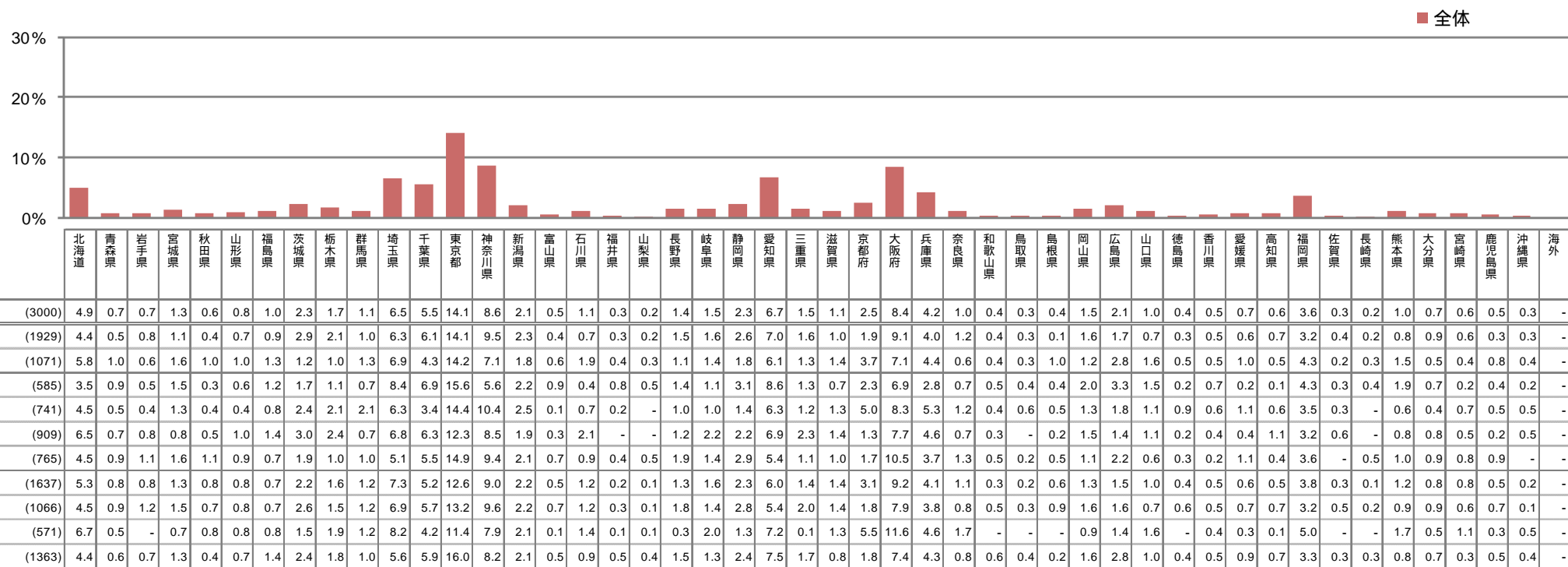
Q.あなたはご自身がワークライフ・インテグレーションを実現できていると感じますか。



# Appendix

## 2．現在の居住地（Q1）

Q.あなたのお住まいの都道府県をお答えください。



(%)  
 : 全体より+10pt以上    : 全体より 10pt以下